



Cisco Unified IP Phone 7931G 電話ガイド for Cisco Unified Communications Manager 6.1 (SCCP)

ライセンスおよび保証規定を含む

電話機の一般的なタスク

電話機のオンライン ヘルプを表示する	 >  を押します。
コールを発信する	 を押して、番号を入力します。
番号をリダイヤルする	 を押します。
ヘッドセットを使用する	 () を押します。
電話機をミュートする	 を押します。
コールを保留にする	 を押します。
コールを復帰する	 (点滅) を押します。
新しい番号へコールを転送する	 を押します。
インターコム コールを発信する	 () を押します。
短縮ダイヤルを使用する	 () を押します。
会議コールを発信する	 () を押します。



クイック リファレンス



Cisco Unified IP Phone 7931G 電話ガイド for Cisco Unified Communications Manager 6.1 (SCCP)

ソフトキーの定義

電話スクリーンのアイコン

ボタン アイコン

電話機の一般的なタスク

ソフトキーの定義

AbbrDial	短縮ダイヤルのインデックス番号を使用してダイヤルする
Answer	コールに応答する
Back	前のヘルプ トピックに戻る
CallBack	話し中または呼び出し中の内線が応対可能になったときに通知を受信する
Cancel	変更内容を適用せずに、操作をキャンセルまたは画面を終了する
Clear	レコードまたは設定を削除する
Close	現在のウィンドウを閉じる
Confrn	会議コールを作成する
ConfList	会議の参加者を表示する
Delete	[EditDial] の使用時に、カーソルの右側にある文字を削除する
Details	不在履歴ログおよび着信履歴ログ内のマルチパーティ コールに関する詳細レコードを開く
Dial	電話番号をダイヤルする
iDivert	ボイス メッセージシステムにコールを転送またはリダイレクトする
DND	サイレントをオンまたはオフにする
EditDial	履歴の電話番号を編集する
EndCall	現在のコールまたは現在のインターコム コールを切断する
Erase	設定をデフォルトにリセットする
Exit	前の画面に戻る
CFwdALL	コール転送を設定またはキャンセルする
GPickUp	別のグループで鳴っているコールに応答する
Links	関連するヘルプ トピックを表示する
Main	ヘルプのメイン メニューを表示する
MeetMe	Meet-Me 会議コールを開催する
more	その他のソフトキーを表示する
NewCall	新しいコールを発信する
OPickUp	関連付けられたグループで鳴っているコールに応答する
Park	コール パークを使用してコールを保存する



Cisco, Cisco Systems, the Cisco logo, and the Cisco Systems logo are registered trademarks or trademarks of Cisco Systems, Inc. and/or its affiliates in the United States and certain other countries. All other trademarks mentioned in this document or Website are the property of their respective owners. The use of the word partner does not imply a partnership relationship between Cisco and any other company. (0705R)

Copyright © 2007 Cisco Systems, Inc. All rights reserved.

OL-14586-01-J

PickUp	自分のグループ内のコールに応答する
Redial	最後にダイヤルした電話番号にリダイヤルする
Remove	会議の参加者を削除する
Resume	コールを保留から復帰する
RmLstC	会議コールに最後に追加された参加者を削除する
Save	選択した設定を保存する
Search	ディレクトリ リストを検索する
Select	メニュー項目またはコールを選択する
Transfer	コールを転送する
Update	内容を更新する
VidMode	ビデオ ディスプレイ モードを選択する
<<	入力した文字を削除する
>>	入力した文字の先に移動する

電話スクリーンのアイコン

コールの状態	
	オンフック回線
	オフフック回線
	接続コール
	コール転送が有効
	呼び出し中のコール
	コールの保留
	保留復帰
	リモートで使用中
	認証されたコール
	暗号化されたコール
	アイドル状態のインターコム回線
	一方向のインターコム コール
	双方向のインターコム コール
機能アクセス	
	アプリケーション メニュー
	設定メニュー
	電話帳メニュー
	メッセージ メニュー
	サービス メニュー
	ヘッドセット ボタン
	会議ボタン
	その他のコール機能
	モビリティ
	機能が有効
	機能が無効
	短縮ダイヤル ボタン

音声またはビデオ モード	
	ハンドセットを使用中
	スピーカフォンを使用中
	ヘッドセットを使用中
	ビデオ

ボタンアイコン

	リダイヤル
	転送
	保留
	ナビゲーションと選択
	スピーカ
	ミュート

Contents

はじめに	1
このガイドの使用方法	1
追加情報の入手	2
安全および使用に関する情報	3
シスコ製品のセキュリティの概要	4
アクセシビリティ機能	4
電話機の接続	5
電話機の概要	8
ボタンとハードウェアについて	9
回線とコールについて	13
回線およびコールのアイコンについて	13
電話スクリーンの機能について	16
アプリケーションメニューへのアクセス	18
電話機のヘルプシステムへのアクセス	18
機能のアクセシビリティについて	19
基本的なコール処理	20
コールの発信：基本的なオプション	20
コールの発信：追加のオプション	22
コールへの応答	24
コールの終了	26
コールの保留と復帰	27
ミュートの使用	28

複数のコール間での切り替え	28
進行中のコールの他の電話機への切り替え	29
コールの転送	30
ボイス メッセージ システムへのコールの送信	31
別の電話番号へのコールの転送	32
サイレントの使用	34
会議コールの使用方法	35
会議の各機能の使用方法	35
会議機能の使用方法	35
参加機能の使用方法	36
Meet-Me の使用方法	37
会議の参加者の表示または削除	38
インターコム コール発信と受信	39
応用的なコール処理	41
短縮ダイヤル	41
自分の電話機にリダイレクトされたコールへの応答	43
パークされているコールの保存と取得	45
ハント グループからのログアウト	46
共有回線の使用	47
共有回線について	47
共有回線での操作	48
BLF による回線状態の確認	49
安全なコールの送受信	50
不審なコールのトレース	51
重要なコールの優先順位付け	51
Cisco エクステンション モビリティの使用	53
1 つの電話番号を使用したビジネス コールの管理	54

ハンドセット、ヘッドセット、およびスピーカフォンの使用方法	56
ヘッドセットの入手	57
自動応答の使用	58
電話機の設定の変更	59
呼出音およびメッセージ インジケータのカスタマイズ	59
電話スクリーンのカスタマイズ	60
履歴およびディレクトリの使用方法	61
履歴の使用方法	61
ディレクトリ ダイアル	64
電話機での社内ディレクトリの使用方法	65
電話機でのパーソナル ディレクトリの使用方法	66
ボイス メッセージへのアクセス	69
ユーザ オプション Web ページの使用方法	71
ユーザ オプション Web ページへのアクセス	72
Web での機能とサービスの設定	73
Web でのパーソナル ディレクトリの使用方法	73
Web での個人アドレス帳の使用方法	73
Web でのファースト ダイアルの設定	74
アドレス帳同期ツールの使用方法	75
Web での短縮ダイアルの設定	75
Web での電話機サービスの設定	77
Web でのユーザ設定の制御	79
Web での回線設定の制御	80
モバイル コネクト用の電話機とアクセス リストの設定	81
Cisco WebDialer の使用方法	84

その他の設定オプションについて	86
電話機のトラブルシューティング	88
一般的なトラブルシューティング	88
電話機の管理データの表示	89
シスコ製品（ハードウェア）に関する 1 年間の限定保証規定	90
索引	

はじめに

このガイドの使用方法

このガイドでは、電話機で使用可能な機能の概要について説明しています。電話機の機能について確実に理解するには、このガイドをよく読んでください。次の表に、よく使用される項目を示します。

目的	操作
電話機について調べる	サポートが必要なときは、電話機の  () >  を押してください。
重要な安全情報を参照する	P.3 の「安全および使用に関する情報」を参照してください。
電話機を接続する	P.5 の「電話機の接続」を参照してください。
設置後に電話機を使用する	P.8 の「電話機の概要」を参照してください。
ボタンとソフトキーについて調べる	P.9 の「ボタンとハードウェアについて」を参照してください。
コールを発信する	P.20 の「コールの発信：基本的なオプション」を参照してください。
コールを保留にする	P.27 の「コールの保留と復帰」を参照してください。
コールをミュートにする	P.28 の「ミュートの使用」を参照してください。
コールを転送する	P.30 の「コールの転送」を参照してください。
会議コールを発信する	P.35 の「会議コールの使用方法」を参照してください。
短縮ダイヤルを設定する	P.41 の「短縮ダイヤル」を参照してください。
電話番号を共有する	P.43 の「自分の電話機にリダイレクトされたコールへの応答」を参照してください。
電話機をスピーカフォンとして使用する	P.56 の「ハンドセット、ヘッドセット、およびスピーカフォンの使用方法」を参照してください。
呼出音またはコールの音量を変更する	P.59 の「呼出音およびメッセージインジケータのカスタマイズ」を参照してください。
不在履歴を表示する	P.61 の「履歴の使用方法」を参照してください。

目的	操作
ボイス メッセージを聞く	P.69 の「ボイス メッセージへのアクセス」を参照してください。
ソフトキーとアイコンの定義を参照する	このガイドの冒頭にあるクイック リファレンス カードを参照してください。

追加情報の入手

WWW 上の次の URL から、Cisco Unified IP Phone の最新資料を入手することができます。

http://www.cisco.com/en/US/products/hw/phones/ps379/tsd_products_support_series_home.html

シスコの Web サイトには、次の URL からアクセスしてください。

<http://www.cisco.com/>

また、シスコの Web サイトの各国語版へは、次の URL からアクセスできます。

http://www.cisco.com/public/countries_languages.shtml

シスコ製品の最新資料の日本語版は、次の URL からアクセスしてください。

<http://www.cisco.com/jp>

安全および使用に関する情報

停電の影響および Cisco Unified IP Phone で使用する他のデバイスについて、次の項を参照してください。

停電

電話機で緊急サービスにアクセスできるかどうかは、電源が供給されている電話機に依存します。電源障害がある場合、電源が復旧するまで、利用および緊急コール サービスへのダイヤルは機能しません。電源の異常および障害が発生した場合は、装置をリセットまたは再設定してから、利用または緊急コール サービスへのダイヤルを行う必要があります。

外部デバイスの使用方法

次の情報は、Cisco Unified IP Phone で外部デバイスを使用する場合に適用されます。

シスコでは、不要な Radio Frequency (RF; 無線周波数) および Audio Frequency (AF; 可聴周波数) がシールドされた高品質の外部デバイス (ヘッドセットなど) の使用を推奨しています。

これらのデバイスの品質や、携帯電話および双方向ラジオなど他のデバイスとの間隔によっては、雑音が入ることもあります。その場合は、次のいずれかの方法で対処してください。

- RF または AF の信号源から外部デバイスを離す。
- RF または AF の信号源から外部デバイスのケーブルの経路を離す。
- 外部デバイス用にシールドされたケーブルを使用するか、シールドおよびコネクタが高品質のケーブルを使用する。
- 外部デバイスのケーブルを短くする。
- 外部デバイスのケーブルに、フェライトまたは同様のデバイスを適用する。

シスコでは、外部デバイス、ケーブル、コネクタの品質については制御できないため、システムパフォーマンスを保証することはできません。良品質のケーブルおよびコネクタを使用して適切なデバイスを接続すると、十分なシステムパフォーマンスを得られます。



注意

欧州連合諸国では、EMC Directive [89/336/EC] に完全に準拠した外部スピーカ、マイクロフォン、およびヘッドセットだけを使用してください。

シスコ製品のセキュリティの概要

本製品には暗号化機能が備わっており、輸入、輸出、配布および使用に適用される米国および他の国での法律を順守するものとします。シスコの暗号化製品を譲渡された第三者は、その暗号化技術の輸入、輸出、配布、および使用を許可されたわけではありません。輸入業者、輸出業者、販売業者、およびユーザは、米国および他の国での法律を順守する責任があります。本製品を使用するにあたっては、関係法令の順守に同意する必要があります。米国および他の国の法律を順守できない場合は、本製品を至急送り返してください。

シスコの暗号化製品に適用される米国の法律の概要については、次の URL で参照できます。

<http://www.cisco.com/wwl/export/crypto/tool/stqrg.html>

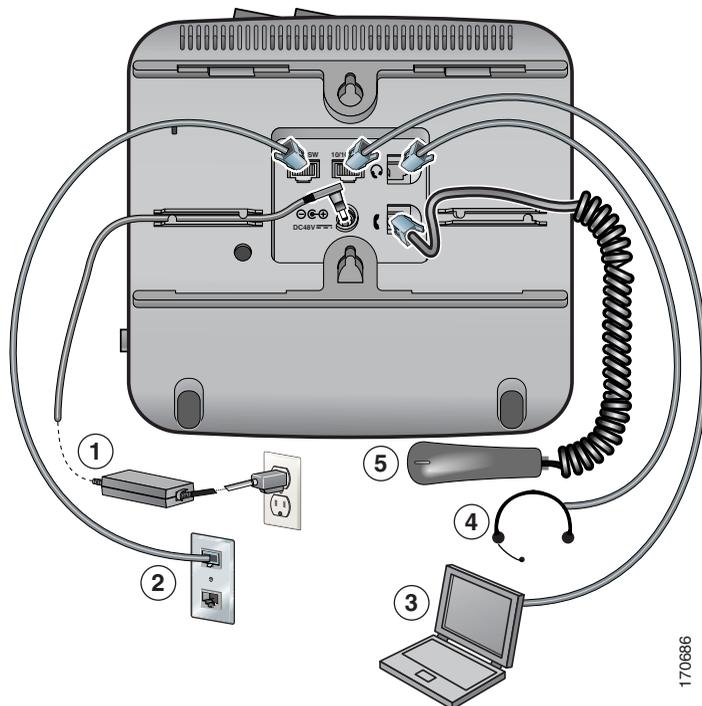
何かご不明な点があれば、export@cisco.com まで電子メールを送信してください。

アクセシビリティ機能

アクセシビリティ機能のリストは、申し込みにより入手可能です。

電話機の接続

通常は、システム管理者が新しい Cisco Unified IP Phone を社内 IP テレフォニー ネットワークに接続します。それ以外の場合は、次の図と表を参照して、電話機を接続してください。

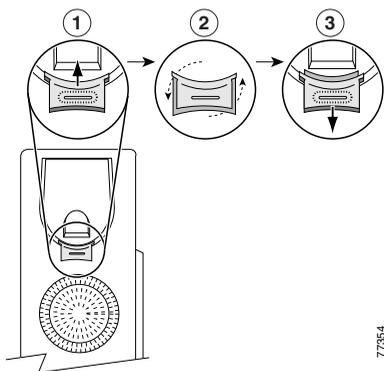


170686

1	DC アダプタ ポート (DC48V) (オプション)
2	ネットワーク ポート (10/100 SW)
3	アクセス ポート (10/100 PC)
4	ヘッドセット ポート
5	ハンドセット ポート

ハンドセット受け台の調節

電話機を接続する際、ハンドセットが滑り落ちないように、受け台を調整することができます。次の表に手順を示します。



1	ハンドセットを外し、ハンドセットの受け台から四角いプラスチックのタブを引き出します。
2	タブを 180 度回します。
3	タブをハンドセットの受け台に再び差し込みます。回したタブの上部から突起が出ている状態になります。ハンドセットを受け台に戻します。

TAPS (内線番号自動登録システム) への登録

電話機をネットワークに接続した後、システム管理者が Tool for Auto-Registered Phones Support (TAPS) を使用して電話機の自動登録を指示する場合があります。TAPS は、新しい電話機にも、既存の電話機を置き換える場合にも使用できます。

TAPS に登録するには、ハンドセットを取り上げて、システム管理者から提供された TAPS 内線番号を入力し、ボイス プロンプトに従います。地域コードを含む、完全な内線番号を入力するように指示される場合があります。電話機に確認メッセージが表示されたら、ハンドセットを置きます。電話機が再起動します。

ヘッドセットについて

ヘッドセットを使用するには、電話機の背面にあるヘッドセット ポートに接続します。詳細については、P.56 の「ハンドセット、ヘッドセット、およびスピーカフォンの使用方法」を参照してください。

シスコシステムズでは、Cisco Unified IP Phone で使用するサードパーティ製のヘッドセットについて社内でテストを実施していますが、ヘッドセットまたはハンドセットのベンダーによる製品については保証またはサポートしていません。Cisco Unified IP Phone の設置場所により、固有の環境およびハード

ウェアの不整合が発生する場合があります。すべての環境に適した 1 つの「最良」な解決策を提供することはできません。ネットワークにヘッドセットを多数展開する前に、お客様の環境での使用に最適かどうか、それらのヘッドセットについてテストすることをお勧めします。

ヘッドセットの種類によっては、その機械上または電子上の特性が原因で、Cisco Unified IP Phone ユーザとリモートで会話中の通話相手に、通話相手自身の声の反響が聞こえる場合があります。

シスコシステムズでは、不要な Radio Frequency (RF; 無線周波数) および Audio Frequency (AF; 可聴周波数) が遮蔽された高品質の外部デバイス (ヘッドセットなど) の使用を推奨しています。これらのデバイスの品質や、携帯電話および双方向ラジオなど他のデバイスとの間隔によっては、雑音が入ることもあります。詳細については、P.7 の「音質に対するユーザの主観」を参照してください。

ヘッドセットのサポートが Cisco Unified IP Phone に適用されない主な理由は、ハム雑音が入る可能性があります。この雑音は、リモートの通話相手のみ、またはリモートの通話相手と Cisco Unified IP Phone ユーザの両方に聞こえる場合があります。ハム雑音やブザーのような雑音は、電灯、近辺にある電気モーター、大型の PC モニタなど、外部ソースに原因があることがあります。場合によっては、ローカル電源キューブやパワー インジェクタを使用することにより、ユーザに聞こえる雑音を低減または解消することができます。

音質に対するユーザの主観

物理的、機械的、および技術的なパフォーマンスより先に、まずヘッドセットによって提供される音が、ユーザとリモートの通話相手にとって良質のものである必要があります。音声は主観的なものであるため、シスコはヘッドセットまたはハンドセットの性能を保証できません。ただし、次に示すサイトに記載されているヘッドセットおよびハンドセットは、Cisco Unified IP Phone で使用した場合の音声が良質であることが報告されています。

これらを使用する場合でも、実際の環境で装置をテストして、性能が適しているかどうかを判断するのは、最終的にお客様の責任となります。

ヘッドセットについては、次の URL を参照してください。

<http://www.vxicorp.com/cisco>

<http://www.plantronics.com/cisco>

<http://www.jabra.com>

電話機の概要

Cisco Unified IP Phone 7931G は、コンピュータで使用するデータ ネットワークで音声通信を行うためのすべての機能が搭載された電話機です。この電話機を使用してコールの発信および受信、保留、転送、会議コールの開設などの機能を使用できます。

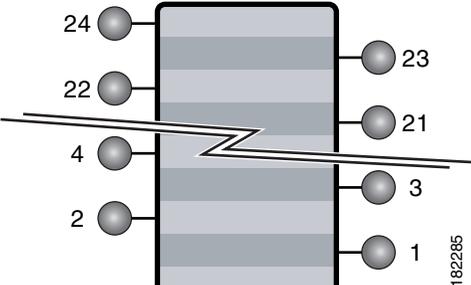
Cisco Unified IP Phone 7931G は、中規模の電話機トラフィックで要求される通信要件と特定のコール要件を満たすように設計されています。専用の保留キー、リダイヤル キー、および転送キーがあり、コール処理が簡単になります。基本的なコール処理のほかに、Cisco Unified IP Phone では、コール処理機能を拡張して生産性を向上させる機能をサポートしています。

- ネットワーク データ、XML アプリケーション、および Web ベースのサービスへのアクセス
- ユーザ オプション Web ページからの電話機の機能およびサービスのオンライン カスタマイズ
- 電話スクリーンに情報を表示する包括的なオンライン ヘルプ システム

ボタンとハードウェアについて

電話機のボタンとハードウェアを特定するには、次の図を参照してください。



項目	説明	参照先
1 プログラマブルボタン 	<p>設定に応じて、プログラマブルボタン（回線キー）で次の機能にアクセスできます。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 電話回線とインターコム回線（回線ボタン） • 短縮ダイヤル番号（短縮ダイヤルボタン。BLF 短縮ダイヤル機能を含む） • Web ベースのサービス(個人アドレス帳ボタンなど) • コール機能（プライバシー、会議など） • ローカル機能（アプリケーションメニュー、ヘッドセット、設定など） <p>ボタンの点灯状態でステータスを示します。</p> <ul style="list-style-type: none">  緑、点灯：アクティブなコールまたは双方向のインターコム コール  緑、点滅：コール保留中  オレンジ、点灯：プライバシー使用中、一方向のインターコム コール、サイレント、ハントグループにログイン中、ヘッドセットまたはその他のローカル機能が有効  オレンジ、点滅：コール着信中またはコール復帰中  赤、点灯：リモート回線が使用中（共有回線、BLF ステータス、またはアクティブなモバイル接続コール）  赤、点滅：リモート コール保留中 <p>回線キーには、左から右に降順で 24 ~ 1 の番号が付けられています。</p> 	<ul style="list-style-type: none"> • 電話スクリーンの機能について (P.16) • 基本的なコール処理 (P.20) • 短縮ダイヤル (P.41) • 共有回線の使用 (P.47) • BLF による回線状態の確認 (P.49) • インターコムコールの発信と受信 (P.39) • コールの保留と復帰 (P.27)

	項目	説明	参照先
2	紙ラベル 	各ボタンの回線情報または機能情報を識別できます。	回線およびコールのアイコンについて (P.13)
3	ソフトキーボタン 	(電話スクリーンに表示されている) ソフトキーのオプションをそれぞれアクティブにします。	電話スクリーンの機能について (P.16)
4	保留ボタン 	コールを保留にします。	コールの保留と復帰 (P.27)
5	転送ボタン 	コールを別の番号に接続します。	コールの転送 (P.30)
6	リダイヤルボタン 	最後にダイヤルした番号に接続します。	コールの発信: 基本的なオプション (P.20)
7	キーパッド	電話番号のダイヤル、文字の入力、およびメニュー項目の選択に使用します。	基本的なコール処理 (P.20)
8	ミュートボタン 	マイクロフォンのオンとオフを切り替えます。マイクロフォンがミュート状態の間、ボタンが点灯します。	ミュートの使用 (P.28)
9	音量ボタン 	ハンドセット、ヘッドセット、スピーカフォンの音量(オフフック時)、および呼出音の音量(オンフック時)を制御します。	ハンドセット、ヘッドセット、およびスピーカフォンの使用方法 (P.56)
10	スピーカ ボタン 	スピーカフォンのオンとオフを切り替えます。スピーカフォンがオンの間、ボタンが点灯します。	ハンドセット、ヘッドセット、およびスピーカフォンの使用方法 (P.56)
11	ハンドセット	従来のハンドセットと同様に機能します。	ハンドセット、ヘッドセット、およびスピーカフォンの使用方法 (P.56)
12	ハンドセットインジケータライト	着信コールまたは新規ボイスメッセージを示します。着信コールの場合は点滅し、待機中のメッセージがある場合は点灯します。	ボイスメッセージへのアクセス (P.69)

項目	説明	参照先
13 電話スクリーン	回線およびコールのステータス、電話番号、ソフトキータブなどの情報を表示します。	電話スクリーンの機能について (P.16)
14 Cisco Unified IP Phone モデル	Cisco Unified IP Phone の型番を示します。	
15 4方向ナビゲーションパッドと選択ボタン (中央) 	<p>ナビゲーション ボタン</p> <ul style="list-style-type: none"> • 上下にスクロールして、メニューを表示し、項目を強調表示します。 • 左にスクロールすると詳細ビューが開き、電話番号と各回線ボタンに割り当てられている機能が表示されます (コールスクリーン時)。 • 右にスクロールすると、詳細ビューが閉じます。 <p>選択ボタン: ナビゲーション ボタンを使用してスクロールし、回線を選択した後、次のように機能します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • ボタンが電話番号にマッピングされている場合 <ul style="list-style-type: none"> - 回線がアイドル状態のときは、 を押して新規コールを発信します。 - 回線に保留中のコールがあるときは、 を押してコールを復帰します。 - 回線にアクティブなコールがあるときは、選択ボタンは機能しません。 • ボタンが機能にマッピングされている場合は、 を押して機能にアクセスします。 	<p>電話スクリーンの機能について (P.16)</p> <p>電話スクリーンの機能について (P.16)</p>

回線とコールについて

回線とコールを混同しないように、次の説明を参照してください。

- 回線：24のプログラマブル ボタンがあります（P.9の「ボタンとハードウェアについて」を参照）。通常、システム管理者が、これらの回線の一部（最大 24）をコールの発信および受信用の回線に割り当てます。各回線は、他者が自分へのコールに使用できる電話番号またはインターコム番号に対応しています。
一部の回線で同じ電話番号を共有し、別の回線で独自の電話番号を持つことができます。電話回線を表示するには、ナビゲーション ボタンでプログラマブル ボタン表示のリストをスクロールします（P.16の「電話スクリーンの機能について」を参照）。
回線として設定されているボタンには、電話番号と、関連付けられているボタン番号が表示されます。たとえば、電話番号「3105」をボタン 1 に割り当てた場合、電話スクリーンに「3105:01」と表示されます。また、各回線にはアイコンが関連付けられており、目的の識別に役立ちます（P.13の「回線およびコールのアイコンについて」を参照）。
- コール：各回線は、単一のコールをサポートできます。複数の回線が電話番号を共有している場合も、それぞれの回線が1つずつコールをサポートできます。

回線およびコールのアイコンについて

電話機には、回線およびコールの状態、および回線ごとの機能へのアクセシビリティの判断に役立つアイコンが表示されます。

アイコン	回線またはコールの状態	説明
コールの状態		
	オンフック回線	この回線のコール アクティビティはありません。
	オフフック回線	電話番号をダイヤル中、または発信コールの呼出音が鳴っている状態です。
	接続コール	通話相手に接続されている状態です。
	コール転送が有効	この回線ではコール転送が有効です。
	呼び出し中のコール	いずれかの回線でコールの呼出音が鳴っています。
	コールの保留	コールが保留されています。P.27の「コールの保留と復帰」を参照してください。
	リモートで使用中	共有回線の別の電話機に、接続コールがあります。P.47の「共有回線の使用」を参照してください。

アイコン	回線またはコールの状態	説明
	認証されたコール	P.50 の「安全なコールの送受信」を参照してください。
	暗号化されたコール	P.50 の「安全なコールの送受信」を参照してください。
	アイドル状態のインターコム回線	インターコム回線は使用されていません。P.39 の「インターコム コールの発信と受信」を参照してください。
	一方向のインターコム	インターコム回線は、一方向の通話を送信または受信しています。P.39 の「インターコム コールの発信と受信」を参照してください。
	双方向のインターコム	受信者が、インターコム回線で発信者との双方向通話をアクティブにしました。P.39 の「インターコム コールの発信と受信」を参照してください。

機能アクセス

	アプリケーションメニュー	アプリケーションメニューがこの回線キーに割り当てられています。P.18 の「アプリケーションメニューへのアクセス」を参照してください。
	設定メニュー	設定メニューがこの回線キーに割り当てられています。P.59 の「電話機の設定の変更」を参照してください。
	電話帳メニュー	電話帳メニューがこの回線キーに割り当てられています。P.61 の「履歴およびディレクトリの使用方法」を参照してください。
	メッセージメニュー	メッセージメニューがこの回線キーに割り当てられています。P.69 の「ボイスメッセージへのアクセス」を参照してください。
	サービスメニュー	サービスメニューがこの回線キーに割り当てられています。P.77 の「Web での電話機サービスの設定」を参照してください。
	ヘッドセットボタン	このオプションを使用すると、電話機でヘッドセットを使用できます。P.56 の「ハンドセット、ヘッドセット、およびスピーカフォンの使用方法」を参照してください。
	会議ボタン	会議がこの回線キーに割り当てられています。P.35 の「会議コールの使用方法」を参照してください。
	その他のコール機能	コール機能がこの回線キーに割り当てられています。機能を確認するには、アイコンの横にあるテキストの説明を参照してください。

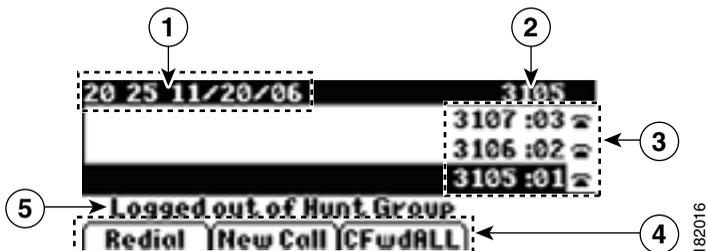
アイコン	回線またはコールの状態	説明
	モビリティ	モビリティ アクセスがこの回線キーに割り当てられています。P.54 の「1 つの電話番号を使用したビジネス コールの管理」を参照してください。
	機能が有効	この回線キーに割り当てられているコール機能が有効です。機能を確認するには、アイコンの横にあるテキストの説明を参照してください。
	短縮ダイヤルまたは BLF 短縮ダイヤル ボタン	短縮ダイヤル ボタンがこの回線キーに割り当てられています。P.41 の「短縮ダイヤル」、P.77 の「Web での電話機サービスの設定」、および P.49 の「BLF による回線状態の確認」を参照してください。

ヒント

回線キーの割り当てを思い出せるように、システム管理者が、印刷済みの紙ラベルを配布することがあります。配布されなかった場合は、白いラベルを外し、独自のラベルを作成します。

電話スクリーンの機能について

アイドル状態のときに表示される電話スクリーンを示します。このビューを「概要」と言います。



1	日時表示	現在の日付と時刻が表示されます。
2	プライマリ電話回線	プライマリ電話回線の電話番号が表示されます。
3	プログラマブル ボタンインジケータ	<p>プログラマブル ボタン  は、電話回線ボタン、インターコム回線ボタン、短縮ダイヤルボタン、電話サービスボタン、コール機能ボタン、またはローカル機能ボタンとして機能します。</p> <p>アイコンとテキストの説明で、ボタンの設定方法が示されます。アイコンのリファレンスについては、P.13の「回線およびコールのアイコンについて」を参照してください。</p>
4	ソフトキー ラベル	ソフトキー機能がそれぞれ表示されます。
5	ステータス行	音声モード アイコン、ステータス情報、およびプロンプトが表示されます。

コールに接続したときに表示される電話スクリーンを示します。このビューを「詳細」と言います。



1	概要	すべての回線の回線番号とアイコン状態が表示されます。
2	詳細ビュー	選択した回線キーに割り当てられているコールおよびローカル機能の詳細が表示されます。この例では、接続中のコールに関する情報（電話番号、接続時間、コールのステータスなど）が表示されています。ナビゲーション ボタンを使用してスクロールすると、別の回線の詳細を表示できます。詳細ビューには、コールおよびローカル機能のラベル名とアイコンが表示されます（P.13の「回線およびコールのアイコンについて」を参照）。

アプリケーション メニューへのアクセス

ローカル電話機能にアクセスするには、アプリケーション メニューを使用します。

目的	操作
アプリケーション メニューにアクセスする	 >  を押して、アプリケーションのリスト（ [Messages]、 [Directory] [Settings] [Services] および [Help]）を表示します（通常、アプリケーションメニューは、左カラムの上部にある  ボタン 24 に割り当てられています）。
リストまたはメニューをスクロールする	ナビゲーション ボタンを使用します。
メニュー項目を選択する	ナビゲーション ボタンを使用してスクロールし、メニュー項目を強調表示して、  または [Select] を押します。または、メニュー項目の番号に対応するキーパッドの数字を押すこともできます。
メニューの 1 つ前のレベルに戻る	[Exit] を押します。メニューの最上位レベルで [Exit] を押すと、メニューが閉じます。
メニューを閉じる（そしてアプリケーションメニューに戻る）	[Exit] を 1 回以上、メニューが閉じるまで押します。
アプリケーションメニューを終了する	 または [Exit] を押します。

ヒント

一部のアプリケーション メニュー項目（ [Settings] [Directories] [Services] [Messages]）は、独自のボタンに割り当てることができます。ナビゲーション ボタンを使用して概要ビューをスクロールし、[P.13 の「回線およびコールのアイコンについて」](#)を参照して回線を識別してください。

電話機のヘルプ システムへのアクセス

電話機には、包括的なオンライン ヘルプ システムがあります。電話機のヘルプを表示するには、 >  > [Help] を押します（通常、アプリケーションメニューは、左カラムの上部にある  ボタン 24 に割り当てられています）。

機能の可用性について

電話機システムの設定によっては、この電話ガイドに記載されている機能の一部がお使いの電話機で利用できない、または動作が異なる場合があります。操作方法や機能の可用性については、お客様の社内のサポート デスクまたはシステム管理者にお問い合わせください。

ソフトキーを使うか回線キーを押すと、機能にアクセスできます。一部の機能を設定することができますが、ほとんどの機能はシステム管理者が制御します。

ソフトキーおよび回線ボタンを使用して機能にアクセスする方法について示します。

機能	ソフトキー	回線ボタンのラベルとアイコン
折返し	CallBack	CallBack ▶
コール転送	CFwdALL	Forward All ▶
コールパーク	Park	Park ▶
コールピックアップ	PickUp	PickUp ▶
会議	Confrn	Conference 
会議リスト	ConfList	Conference List ▶
サイレント	DND	Do Not Disturb 
終了	EndCall	End Call ▶
グループピックアップ	GPickUp	Group PickUp ▶
保留	Hold	 ボタン
ハントグループ	HLog	Hunt Group ▶
迷惑呼 ID	MCID	Malicious Call ID ▶
Meet-Me 会議	MeetMe	MeetMe ▶
モビリティ	Mobility	Mobility 
発信	New Call	New Call ▶
その他のグループピックアップ	OPickUp	Other PickUp ▶
リダイヤル	Redial	 ボタン
最後の会議参加者を削除	RmLstC	Remove Last Participant ▶
転送	Transfer	 ボタン
ビデオモード	VidMode	Video 

基本的なコール処理

一連の機能とサービスを使用して、基本的なコール処理を実行できます。機能の Availability は異なる場合があります。詳細については、システム管理者にお問い合わせください。

コールの発信：基本的なオプション

ここでは、Cisco Unified IP Phone でコールを発信する簡単な方法を一部紹介します。

目的	操作	参照先
ハンドセットを使用してコールを発信する	ハンドセットを取り上げ、番号を入力します。	ハンドセット、ヘッドセット、およびスピーカフォンの使用方法 (P.56)
スピーカフォンを使用してコールを発信する	 を押して、番号を入力します。	ハンドセット、ヘッドセット、およびスピーカフォンの使用方法 (P.56)
ヘッドセットを使用してコールを発信する	 () を押して、番号を入力します (通常、ボタン 23 がヘッドセットに割り当てられます)。	ハンドセット、ヘッドセット、およびスピーカフォンの使用方法 (P.56)
番号をリダイヤルする	 を押して、最後の番号をダイヤルします。	コールの発信：基本的なオプション (P.20)
履歴からダイヤルする	<ol style="list-style-type: none"> () [Directories] を押します。[Missed Calls] [Received Calls] または [Placed Calls] を選択します。[Dial] を押します。	履歴の使用方法 (P.61)

ヒント

- ダイヤル トーンを聞かずにオンフックでダイヤルできます (プレダイヤル)。プレダイヤルするには、番号を入力してから、ハンドセットを取り上げてオフフックにし、[Dial] を押すか、 () または  を押します。
- プレダイヤルする場合、発信履歴ログ内の一致する番号 (ある場合) が電話機に表示され、ダイヤルする番号が電話機によって予測されます。これは自動ダイヤルと呼ばれます。自動ダイヤルで表示された番号に発信するには、その番号までスクロールし、オフフックにするか [Select] ボタンを押します。
- 間違ってダイヤルした場合は、<< を押して番号を消去します。
- コールの発信者と受信者にビープ音が聞こえる場合は、そのコールが監視または記録されている可能性があります。詳細については、システム管理者にお問い合わせください。

コールの発信：追加のオプション

コールを発信するための特別な機能とサービスが電話機で使用可能な場合があります。これらの追加オプションの詳細については、システム管理者にお問い合わせください。

目的	操作	参照先または問い合わせ先
別のコールがアクティブなときにコールを発信する(別の回線を使用)	<ol style="list-style-type: none"> 新しい回線の  を押します。最初のコールが自動的に保留状態になります。 番号を入力します。 	コールの保留と復帰 (P.27)
短縮ダイヤルを使用する	<p>次のいずれかの操作を実行します。</p> <ul style="list-style-type: none">  () を押します。 固定短縮ダイヤル機能を使用します。 ファースト ダイヤル機能を使用します。 	短縮ダイヤル (P.41)
電話機の社内ディレクトリからダイヤルする	<ol style="list-style-type: none">  () > [Directories] > [Corporate Directory] を選択します (名前は異なる場合があります)。 名前を入力し、[Search] を押します。 リスト項目を強調表示し、オフフックにします。 	履歴の使用方法 (P.61)
Cisco CallBack を使用して、話し中または呼び出し中の内線が対応可能になったときに通知を受信する	<ol style="list-style-type: none"> ビジー音または呼出音が聞こえているときに [CallBack] を押します。 切断します。回線が空くと、電話機によって通知されます。 コールをもう一度発信します。 	システム管理者
短縮ダイヤルに関連付けられている回線にコールを発信する前に、その回線がビジー状態かどうかを確認する	ビジーランプフィールドのインジケータを調べます。	BLF による回線状態の確認 (P.49)
プライオリティ (Precedence) コールをかける	MLPP アクセス番号を入力してから、電話番号を入力します。	重要なコールの優先順位付け (P.51)
個人アドレス帳 (PAB) のエントリからダイヤルする	<ol style="list-style-type: none">  () > [Directories] > [Personal Directory] を押して、ログインします。 [Personal Address Book] を選択し、リスト項目を検索します。 	電話機でのパーソナルディレクトリの使用方法 (P.66)

目的	操作	参照先または問い合わせ先
課金コードまたはトラッキングコードを使用してコールを発信する	<ol style="list-style-type: none"> 1. 番号をダイヤルします。 2. トーンが鳴ったら、Client Matter Code (CMC; クライアント マター コード) または Forced Authorization Code (FAC) を入力します。 	システム管理者
エクステンション モビリティ プロファイルを使用してコールを発信する	電話機でエクステンション モビリティ サービスにログインします。	Cisco エクステンション モビリティの使用 (P.53)
モバイル ボイス アクセスを使用して携帯電話からコールを発信する	<ol style="list-style-type: none"> 1. モバイル ボイス アクセスの番号とエンド ユーザの PIN をシステム管理者から入手します。 2. ユーザに割り当てられているモバイル ボイス アクセスの番号にダイヤルします。 3. 携帯電話の番号 (要求された場合) と PIN を入力します。 4. 1 を押して、会社の IP Phone にコールを発信します。 5. ユーザのデスクトップ電話番号以外のデスクトップ電話番号をダイヤルします。 	1 つの電話番号を使用したビジネス コールの管理 (P.54)

コールへの応答

コールに応答するには、ハンドセットを取り上げるか、電話機で利用できるその他のオプションを使用します。

目的	操作	参照先
ヘッドセットで応答する	 () が点灯していない場合、押します。  () が点灯している場合は、[Answer] または  (点滅) を押します。	ハンドセット、ヘッドセット、およびスピーカフォンの使用方法 (P.56)
スピーカフォンで応答する	 、[Answer] または  (点滅) を押します。	ハンドセット、ヘッドセット、およびスピーカフォンの使用方法 (P.56)
接続コールから切り替えて新しいコールに応答する	[Answer] を押すか、別の回線で呼出音が鳴っている場合は、  (点滅) を押します。	コールの保留と復帰 (P.27)
コール待機を使用して応答する	[Answer] を押します。	コールの保留と復帰 (P.27)
ボイス メッセージ システムにコールを送信する	[iDivert] を押します。	ボイス メッセージ システムへのコールの送信 (P.31)
コールに自動的に接続する	自動応答を使用します。	自動応答の使用 (P.58)
別の電話機でパークされたコールを取得する	コール パークまたはダイレクト コール パークを使用します。	パークされているコールの保存と取得 (P.45)
電話機を使用して、別の場所で鳴っているコールに応答する	コール ピックアップを使用します。	自分の電話機にリダイレクトされたコールへの応答 (P.43)
プライオリティ コールに応答する	現在のコールを切断し、[Answer] を押します。	重要なコールの優先順位付け (P.51)

目的	操作	参照先
携帯電話またはその他のリモート接続先でコールに回答する	<p>モバイル コネクトを設定して電話に応答します。</p> <p>モバイル コネクトを有効にすると次のようになります。</p> <ul style="list-style-type: none"> • デスクトップとリモート接続先でコールを同時に受信します。 • デスクトップ電話機でコールに応答すると、リモート接続先の呼出音が止まって切断され、不在履歴メッセージが表示されます。 • リモート接続先でコールに応答すると、他のリモート接続先の呼出音が止まって切断され、他のリモート接続先では不在履歴メッセージが表示されます。 	1つの電話番号を使用したビジネス コールの管理 (P.54)

ヒント

通話相手にビープ音が聞こえた場合、その通話は監視または記録されている可能性があります。詳細については、システム管理者にお問い合わせください。

コールの終了

コールを終了するには、単純に切断します。ここでは、その操作を詳細に説明します。

目的	操作
ハンドセットを使用しているときに切断する	ハンドセットを受け台に戻します。または [EndCall] を押します。
ヘッドセットを使用しているときに切断する	 () を押します。または、ヘッドセットモードをアクティブのままにするには、 [EndCall] を押します。
スピーカフォンを使用しているときに切断する	 または [EndCall] を押します。

コールの保留と復帰

コールを保留または復帰できます。コールを保留にすると、電話スクリーンで回線の横に保留アイコン  が表示され、対応する回線ボタンが緑で点滅します .

別のユーザが共有回線を保留にすると、関連付けられている回線ボタンに  (点滅) が表示されます。ユーザまたは回線を共有する任意のユーザが、このコールを復帰できます。

電話機で保留復帰機能を有効にすると、保留にしたコールは、一定の時間が経過した後に復帰し、呼出音が再び鳴るようになります。「復帰」コールは、ユーザが保留解除するまで、または保留復帰がタイムアウトするまで保留状態のままです。

復帰コールがある場合、電話機の次のようなアクションによって示されます。

- 一定の間隔を置いて呼出音 (点滅やビープ音など。ユーザの電話回線の設定によって異なる) を 1 回鳴らして警告する
- 電話スクリーンの下のステータスバーに、「Hold Reversion」という短いメッセージが表示される
- 保留中コールの発信者 ID の横に、保留復帰アイコンの動画  が表示される
- 回線ボタン  が表示される (回線状態によっては点滅)

目的	操作
コールを保留にする	<ol style="list-style-type: none"> 1. 該当するコールが強調表示されていることを確認します。 2.  を押します。
現在の回線で、コールの保留を解除する	<ul style="list-style-type: none"> • 保留中コールの  (点滅)、 (点滅)、または  (点滅) を押します。または、 • 対応するコールが強調表示されていることを確認して、次のいずれかを実行します。 <ul style="list-style-type: none"> - [Resume] を押します。 -  を押します。

ヒント

- コールが保留状態になっているとき、通常は音楽やビープ音が流れます。
- 着信コールと復帰コールを同時に受信しているという警告を受けると、デフォルトでは、ユーザの電話機は着信コールの表示に電話機スクリーンのフォーカスを移します。システム管理者はこのフォーカス優先度の設定を変更することができます。
- 共有回線を使用している場合、コールを保留する電話機でのみ保留復帰の呼出音が鳴り、この回線を共有する他の電話機では鳴りません。
- 保留復帰の警告が発生する間隔は、システム管理者が決定します。

ミュートの使用

ミュートが有効な場合、コールの通信相手からの音声は聞こえますが、自分からの音声は通信相手に聞こえません。ミュートは、ハンドセット、スピーカフォン、またはヘッドセットで使用できます。

目的	操作
マイクロフォンをオンにする	 を押します。
マイクロフォンをオフにする	 を押します。

複数のコール間での切り替え

複数の回線で複数のコールを切り替えることができます。

目的	操作
別の回線の保留中コールに切り替える	切り替える回線の  (点滅) を押します。
接続コールから切り替えて呼び出し中のコールに応答する	 (点滅) を押します。アクティブなコールが保留になり、選択したコールが復帰します。

進行中のコールの他の電話機への切り替え

進行中のコールは、デスクトップの電話機と、携帯電話または他のリモート接続先の電話機との間で切り替えることができます。

目的	操作
進行中のコールをデスクトップ電話機から携帯電話に切り替える	<ol style="list-style-type: none"> 1. [Mobility] ソフトキーを押して、[Send call to mobile] を選択します。 2. 携帯電話で進行中のコールに応答します。 デスクトップ電話機の回線ボタンが赤  になり、ハンドセットアイコンと発信者の番号が電話機に表示されます。同じ電話回線を別のコールに使用することはできませんが、デスクトップ電話機が複数回線をサポートする場合は、別の回線を使用してコールの発信または受信ができます。
進行中のコールを携帯電話からデスクトップ電話機に切り替える	<ol style="list-style-type: none"> 1. 携帯電話で通話を終了して携帯電話を切断します。ただし、コールは切断しないで済みます。 2. デスクトップ電話機で 4 秒以内に [Resume] を押して、デスクトップ電話機で会話を開始します。

コールの転送

接続コールは転送によってリダイレクトされます。転送先は、コールの転送先となる電話番号です。コールを転送すると、電話機は新しい回線で転送を開始します。

目的	操作
転送先の相手と会話せずにコールを転送する	<ol style="list-style-type: none">1. アクティブなコールで、 を押します。2. 転送先の番号を入力します。3.  をもう一度押して転送を完了するか、[EndCall] を押してキャンセルします。 <p> (注) 電話機でオンフック転送が有効になっている場合は、切断によって転送を完了します。</p>
転送先の相手と会話してからコールを転送する（打診転送）	<ol style="list-style-type: none">1. アクティブなコールで、 を押します。2. 転送先の番号を入力します。3. 相手が応答するのを待ちます。4.  をもう一度押して転送を完了するか、[EndCall] を押してキャンセルします。 <p> (注) 電話機でオンフック転送が有効になっている場合は、切断によって転送を完了します。</p>
ボイス メッセージ システムにコールをリダイレクトする	[iDivert] を押します。詳細については、 P.31の「ボイス メッセージ システムへのコールの送信」 を参照してください。

ヒント

- 電話機でオンフック転送が有効な場合は、切断してコールを完了するか、または  を押してから切断することができます。
- 電話機でオンフック転送が有効でない場合は、 をもう一度押さずに切断すると、コールが保留状態になります。
-  を使用して保留中のコールをリダイレクトすることはできません。[Resume] をもう一度押して、転送前にコールの保留を解除してください。

ボイス メッセージ システムへのコールの送信

[iDivert] を使用して、アクティブ、呼び出し中、または保留中のコールをボイス メッセージ システムに送信できます。コールのタイプと電話機の設定によっては、[iDivert] を使用して通話相手のボイス メッセージ システムにコールを転送することもできます。

- コールが最初から自分以外の誰かの電話機に送信されていた場合は、[iDivert] でそのコールを自分のボイス メッセージ システムまたは本来のコール先のボイス メッセージ システムのどちらかにリダイレクトすることができます。このオプションは、システム管理者が使用可能にしておく必要があります。
- コールが直接送信された（転送されたのではない）場合、または使用している電話機が上記で説明したオプションをサポートしていない場合、[iDivert] を使用するとコールはその電話機ユーザのボイス メッセージ システムにリダイレクトされます。

目的	操作
アクティブ、呼び出し中、または保留中のコールをボイス メッセージ システムに送信する	<p>[iDivert] を押します。次のどちらかになります。</p> <ul style="list-style-type: none"> • コールが自分のボイス メッセージ システムに転送されます。 • 電話スクリーンに、自分のボイス メッセージ システムと本来のコール先のボイス メッセージ システムを選択できるメニューが表示されます。オプションを選択して、コールをリダイレクトします。

ヒント

電話機にメニューが表示され、選択前にメニューが非表示になっても、[iDivert] をもう一度押すと、メニューが再表示されます。システム管理者に、タイムアウト値を現在より長く設定するように依頼することもできます。

別の電話番号へのコールの転送

コール転送機能を使用すると、自分の電話機にかかってくる着信コールを別の電話番号にリダイレクトできます。

システム管理者によって許可されている場合は、次の2種類のコール転送機能から選択できます。

- 無条件のコール転送（不在転送）: 受信したすべてのコールに適用されます。
- 条件付きコール転送（無応答時転送、話中転送、カバレッジなし時転送）: 条件に応じて、受信した特定のコールに適用されます。

不在転送機能には電話機からアクセスできますが、他のコール転送機能には、ユーザ オプション Web ページからのみアクセスできます。どのコール転送機能を使用できるかは、システム管理者が決定します。

目的	操作
プライマリ回線の不在転送を設定する	<p>[CFwdALL] を押して、転送先の電話番号を入力します。</p> <p> (注) 電話機によっては、プライマリ回線と同じ電話番号に追加の回線キーが割り当てられていることがあります。その場合（かつ、その電話番号へのすべてのコールを転送する場合は）、回線ごとにコール転送を設定する必要があります。</p>
プライマリ回線の不在転送をキャンセルする	<p>[CFwdALL] を押します。</p>
プライマリ回線の不在転送が有効になっているかどうかを確認する	<p>次の点を確認します。</p> <ul style="list-style-type: none">• 常に回線キー 1 にあるプライマリ電話番号の横にコール転送アイコン  が表示されている。• コール転送の転送先番号がステータス行に表示されている。
リモートで、またはプライマリ回線以外のコール転送を設定またはキャンセルする	<ol style="list-style-type: none">1. ユーザ オプション Web ページにログインします (P.72 の「ユーザ オプション Web ページへのアクセス」を参照してください)。2. コール転送設定にアクセスします (P.80 の「Web での回線設定の制御」を参照してください)。 <p> (注) コール転送がプライマリ回線以外で有効になっている場合、電話機にはコール転送の状態が表示されません。ユーザ オプション Web ページで設定を確認する必要があります。</p>

ヒント

- コール転送の転送先番号は、自分の電話機からダイヤルする場合とまったく同じように入力します。たとえば、必要に応じてアクセスコードや地域コードをダイヤルします。
- 従来のアナログ電話機、または他の IP Phone にコールを転送することはできますが、システム管理者がコール転送機能を社内の番号に制限している場合があります。
- コール転送は、電話回線に固有の機能です。コール転送が有効でない回線にコールが到達すると、通常どおりコールの呼出音が鳴ります。
- システム管理者は、転送されたコールを受信した人物から転送者への連絡を可能にする、コール転送オーバーライド機能を有効にできます。このオーバーライドが有効になると、転送先から転送者の電話機に発信されたコールは転送されず、呼出音が鳴ります。

サイレントの使用

サイレント（DND）を使用して、着信コールの呼出音が鳴らないようにできます。システム管理者がユーザの電話機のサイレントを有効にできます。

電話機でサイレントとコール転送の両方が有効になっている場合、コールは転送され、発信者にはビジー音が聞こえません。

サイレントがアクティブでも、インターコム回線の呼出音は鳴ります。

目的	操作
サイレントをオンにする	[DND] を押します。 電話機に「Do Not Disturb」と表示され、サイレント ライト  （点灯）が点灯し、呼出音がオフになります。
サイレントをオフにする	[DND] を押します。
サイレント設定をカスタマイズする	<ol style="list-style-type: none">1. ユーザ オプション Web ページにログインします。P.72 の「ユーザ オプション Web ページへのアクセス」を参照してください。2. [ユーザオプション] > [デバイス] を選択します。3. 次のオプションを設定します。<ul style="list-style-type: none">• [サイレント]: サイレントをオンまたはオフにします。• [DND 着信呼警告]: 警告をピープ音のみまたは点滅のみにするか、すべての表示を無効にして音声による警告通知に設定します。

会議コールの使用法

Cisco Unified IP Phone では、1 台の電話機の会話に 3 名以上の人々を参加させて、会議コールを作成できます。

会議の各機能の使用法

会議は、必要に応じて、また電話機で使用できる機能に応じて、次に示す方法で開催できます。

- 会議：参加者それぞれにコールを発信することによって、標準の（アドホック）会議を開催できます。[**Confrn**] ソフトキーまたは [**Conference**] ボタンを使用します。会議機能は、ほとんどの電話機で使用できます。
- 参加：既存の複数のコールを結合することによって、標準の（アドホック）会議を開催できます。[**Join**] ソフトキーを使用します。
- Meet-Me：会議番号にコールを発信することによって、会議を開催したり、会議に参加したりできます。[**MeetMe**] ソフトキーまたはボタンを使用します。

会議機能の使用法

会議機能を使用すると、参加者それぞれにコールを発信できます。会議機能は、ほとんどの電話機で使用できます。

目的	操作
参加者にコールを発信して会議を開催する	<ol style="list-style-type: none"> 1. 接続コールで、[Confrn] ソフトキーまたは [Conference] ボタンを押します（必要に応じて [more] ソフトキーを押して、[Confrn] ソフトキーを表示します）。 2. 参加者の電話番号を入力します。 3. コールが接続されるまで待ちます。 4. 参加者をコールへ追加するには、[Confrn] ソフトキーまたは [Conference] ボタンをもう一度押します。 5. この手順を繰り返して、参加者を追加していきます。
すでに開催されている会議に新しい参加者を追加する	<p>上記の手順を繰り返します。</p> <p>会議の開催者以外が参加者を追加または削除できるかどうかは、システム管理者が決定します。</p>
参加者のリストを表示する、または参加者を削除する	<p>P.38 の「会議の参加者の表示または削除」を参照してください。</p>

参加機能の使用法

参加機能を使用すると、複数の既存のコールを結合して、自分が参加者となる会議を開催できます。

目的	操作
複数の既存のコールを結合して会議を開催する	<ol style="list-style-type: none">1. アクティブなコールで[Join]を押します(必要に応じて[more]ソフトキーを押して、[Join]を表示します)。2. 会議に含めるコールに対応する、緑色で点滅している回線ボタンを押します。 次のどちらかになります。<ul style="list-style-type: none">• コールが結合されます。• 結合するコールを選択するよう求めるウィンドウが電話機のスクリーンに表示されます。操作を完了するには、コールを強調表示し、[Select]を押してから、[Join]を押します。
2つの既存の会議を結合する	[Join]ソフトキーまたは[DirTrfr]ソフトキーを使用します。 この機能が使用可能かどうか、システム管理者に確認してください。
参加者のリストを表示する、または参加者を削除する	P.38 の「会議の参加者の表示または削除」 を参照してください。

Meet-Me の使用方法

Meet-Me 会議では、会議番号を呼び出すことで会議を開催したり、会議に参加したりできます。

目的	操作
Meet-Me 会議を開始する	<ol style="list-style-type: none"> 1. システム管理者に問い合わせ、Meet-Me 電話番号を取得します。 2. 番号を参加者に配布します。 3. 会議を開始する準備ができたなら、オフフックにしてダイヤルトーンを受信し、[MeetMe] を押します。 4. Meet-Me 会議番号をダイヤルします。 <p>これで、参加者はダイヤルインすることによって会議に参加できます。</p> <p> (注) 開催者が会議に参加する前に、参加者が会議にコールすると、ビジー音が聞こえます。その場合、参加者はもう一度コールする必要があります。</p>
Meet-Me 会議に参加する	<p>会議の開催者から提供された Meet-Me 会議番号をダイヤルします。</p> <p> (注) 開催者が会議に参加する前に、会議にコールすると、ビジー音が聞こえます。その場合は、もう一度コールしてください。</p>
Meet-Me 会議を終了する	<p>すべての参加者が切断する必要があります。</p> <p>会議の開催者が切断しても、会議が自動的に終了することはありません。</p>

ヒント

セキュリティ保護されていない電話機からセキュアな Meet-Me 会議番号にコールすると、ユーザの電話機には「Device Not Authorized」というメッセージが表示されます。詳細については、[P.50 の「安全なコールの送受信」](#)を参照してください。

会議の参加者の表示または削除

標準の（アドホック）会議中に、参加者のリストを表示したり、参加者を削除したりできます。

会議の参加者のリストを表示する	<p>[ConfList] または [Conference List] を押します。</p> <p>会議に参加した順序に従って、参加者がリストに表示されます。最後に追加された参加者がリストの先頭になります。</p>
会議の参加者のリストを更新する	会議の参加者のリストを表示している状態で、[Update] を押します。
会議の開催者を確認する	会議のリストを表示している状態で、リストの末尾までスクロールして、会議の開催者（名前の横にアスタリスク（*）の付いた参加者）を検索します。
会議の任意の参加者を削除する	会議の参加者のリストを表示している状態で、参加者の名前を強調表示し、[Remove] を押します。
会議に最後に追加された参加者を削除する	会議の参加者のリストを表示している状態で、[RMLstC] または [Remove Last Participant] を押します。
会議コールのセキュリティを確認する	「Conference」の次に  アイコンまたは  アイコンが表示されているか電話機のスクリーンで確認します。
セキュリティ保護されている電話機から参加者がコールを発信していることを確認する	参加者の名前の横に  アイコンまたは  アイコンが表示されているか電話機のスクリーンで確認します。
別の参加者を追加する	P.35 の「会議機能の使用方法」 を参照してください。

インターコム コールの発信と受信

ミュートをアクティブにしたスピーカフォン モードでコールに自動応答する通話先の電話機にインターコム コールを発信できます。一方向のインターコム コールでは、通話相手に短いメッセージを送ることができます。通話相手のハンドセットまたはヘッドセットが使用中の場合、使用中のデバイスに音声を送信されます。通話相手が現在実行中のすべてのコール アクティビティは同時に継続されません。

通話相手は、インターコムのアラート トーンを受信してから、次のいずれかを選択できます。

- マイクフォンをミュートにして発信者の通話を聞く(発信者の声は聞こえるが相手はユーザの声が聞こえない)
- インターコム コールにフォーカスが置かれた状態で、[EndCall] ソフトキーを押してインターコムを終了する。メッセージを聞かない場合はこの方法を選択します。
- アクティブなインターコム ボタンを押し、ハンドセット、ヘッドセット、またはスピーカを使用して、発信者と会話する。インターコム コールは双方向接続になり、発信者と会話できます。

インターコム機能を使用するときは、次のことに注意してください。

- 1つのインターコム回線からは、別のインターコム回線にだけダイヤルできます。
- 同時に使用できるインターコム回線は1つだけです。
- アクティブなコールが監視または記録されているときは、インターコム コールを受信または発信できません。
- インターコム コールを保留にすることはできません。



(注)

エクステンション モビリティ プロファイルを使用してデスクトップの電話機に毎日ログインする場合は、エクステンション モビリティ プロファイルがインターコム機能を含むようにシステム管理者によって設定されていることを確認してください。

目的	操作
事前定義したインターコムの通話相手の番号に、インターコムコールを発信する	 (インターコムの通話相手の回線) を押し、インターコムのアラート トーンが聞こえた後、話し始めます。
事前定義していないインターコムの通話相手の番号に、インターコム コールを発信する	 () を押します。インターコムの通話相手の番号を入力するか、相手の短縮ダイヤル番号を押します。インターコムのアラート トーンが聞こえた後、話し始めます。
インターコム コールを受信する	<p>インターコムのアラート トーンが聞こえたら、次のいずれかの方法でコールを処理します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 一方方向のオーディオでメッセージを聞きます。 •  (アクティブなインターコム回線) を押して発信者と会話をします。 • インターコム コールにフォーカスが置かれた状態で [EndCall] を押します。

応用的なコール処理

応用的なコール処理のタスクには、特別な機能が伴うため、コール処理の需要や作業環境に応じて、システム管理者に電話機の設定を依頼します。

短縮ダイヤル

短縮ダイヤル機能を使用すると、インデックス番号の入力、ボタンの押下、または電話スクリーンの項目の選択により、コールを発信できます。設定に応じて、電話機は次のような短縮ダイヤル機能をいくつかサポートします。

- 短縮ダイヤル ボタン
- 固定短縮ダイヤル
- ファースト ダイヤル



- (注)
- 短縮ダイヤル ボタンおよび固定短縮ダイヤルを設定するには、ユーザ オプション Web ページにアクセスする必要があります。P.72 の「[ユーザ オプション Web ページへのアクセス](#)」を参照してください。
 - ファースト ダイヤルを設定するには、パーソナルディレクトリ機能にアクセスする必要があります。P.66 の「[電話機でのパーソナルディレクトリの使用方法](#)」を参照してください。
 - または、システム管理者がユーザに代わって短縮ダイヤル機能を設定できます。
-

目的	操作
短縮ダイヤル ボタンを使用する	<ol style="list-style-type: none"> 短縮ダイヤル ボタンを設定します。P.75 の「Web での短縮ダイヤルの設定」を参照してください。 コールを発信するには、 (⋮) を押します。 <p> (注) 電話機が Busy Lamp Field (BLF; ビジー ランプ フィールド) 短縮ダイヤル機能をサポートする場合は、短縮ダイヤル番号が話し中であるかどうかを、ダイヤルする前に確認できます。P.49 の「BLF による回線状態の確認」を参照してください。</p>
固定短縮ダイヤルを使用する	<ol style="list-style-type: none"> 固定短縮ダイヤル コードを設定します。P.75 の「Web での短縮ダイヤルの設定」を参照してください。 コールを発信するには、固定短縮ダイヤル コードを入力し、[AbbrDial] を押します。
ファースト ダイヤルを使用する	<ol style="list-style-type: none"> 個人アドレス帳のエントリを作成し、ファースト ダイヤル コードを割り当てます。P.73 の「Web でのパーソナルディレクトリの使用方法」を参照してください。 コールを発信するには、電話機のファースト ダイヤル サービスにアクセスします。P.73 の「Web でのパーソナルディレクトリの使用方法」を参照してください。

自分の電話機にリダイレクトされたコールへの応答

コール ピックアップを使用すると、同僚の電話機で呼び出し中のコールを自分の電話機にリダイレクトすることで応答できます。同僚とコール処理を分担している場合は、コール ピックアップを使用すると便利です。

目的	操作
自分のコール ピックアップ グループ内の内線で鳴っているコールに応答する	<ol style="list-style-type: none"> 次のいずれかの操作を実行します。 <ul style="list-style-type: none"> [PickUp] ボタンまたはソフトキーを使用できる場合は、このボタンまたはキーを押します。 [PickUp] ボタンまたはソフトキーを使用できない場合は、オフフックにして[PickUp]ソフトキーを表示してから押します。電話機が自動ピックアップをサポートしている場合は、ここでコールに接続されます。 コールが鳴った場合は、[Answer] を押してコールに接続します。
グループ外の内線で鳴っているコールに応答する	<ol style="list-style-type: none"> 次のいずれかの操作を実行します。 <ul style="list-style-type: none"> [Group PickUp] ボタンまたは [GPickUp] ソフトキーを使用できる場合は、このボタンまたはキーを押します。 [Group PickUp] ボタンまたは [GPickUp] ソフトキーを使用できない場合は、オフフックにして [GPickUp] ソフトキーを表示してから押します。 グループ ピックアップ コードを入力します。電話機が自動ピックアップをサポートしている場合は、ここでコールに接続されます。 コールが鳴った場合は、[Answer] を押してコールに接続します。
自分のグループ内または関連付けられたグループ内の別の内線で鳴っているコールに応答する	<ol style="list-style-type: none"> 次のいずれかの操作を実行します。 <ul style="list-style-type: none"> [Other PickUp] ボタンまたは [OPickUp] ソフトキーを使用できる場合は、このボタンまたはキーを押します。 [Other PickUp] ボタンまたは [OPickUp] ソフトキーを使用できない場合は、オフフックにして [OPickUp] ソフトキーを表示してから押します。電話機が自動ピックアップをサポートしている場合は、ここでコールに接続されます。 コールが鳴った場合は、[Answer] を押してコールに接続します。

ヒント

- ユーザの電話機の設定によっては、ピックアップグループへのコールに関する音声または表示(またはその両方)によるアラートを受信する場合があります。
- [PickUp]、[Group PickUp]、または[GPickUp]を押すと、一番長く鳴り続けているコールに接続されます。
- [Other PickUp]または[OPickUp]を押すと、プライオリティが最も高いピックアップグループ内のコールに接続されます。
- 複数の回線がある場合に、プライマリ回線以外のコールをピックアップするには、目的の回線の  を押してから、[Call PickUp] ボタンまたはソフトキーを押します。

パークされているコールの保存と取得

コールをパークすると、コールを保存し、Cisco Unified Communications Manager システムの別の電話機（同僚のデスクや会議室の電話機など）でコールを取得できます。コールをパークするには、次の方法を使用します。

- コールパーク : [Park] ソフトキーを使用して、コールを保存します。電話機に、システムがコールを保存した場所であるコール パーク番号が表示されます。この番号をメモし、同じ番号を使用してコールを取得する必要があります。
- ダイレクト コール パーク :  ボタンを使用して、ダイヤルまたは短縮ダイヤルで使用可能なダイレクト コール パーク番号にコールを割り当てます。ダイレクト コール パークの番号からコールを取得するには、パーク取得プレフィクスをダイヤルしてから、保存したときと同じダイレクト コール パーク番号をダイヤルまたは短縮ダイヤルします。
[Directed Call Park] ボタンを使用すると、ダイレクト コール パーク番号に短縮ダイヤルでき、ダイレクト コール パーク番号が使用中か使用可能かを監視できます。

目的	操作
コール パークを使用してアクティブなコールを保存する	<ol style="list-style-type: none"> 1. コール中に、[Park] を押します（必要に応じて [more] ソフトキーを押して、[Park] を表示します）。 2. 電話スクリーンに表示されたコールパーク番号をメモします。 3. 切断します。
パークされたコールを取得する	ネットワーク内の任意の Cisco Unified IP Phone でコールパーク番号を入力し、コールに接続します。
アクティブなコールをダイレクト コール パーク番号に割り振って保存する	<ol style="list-style-type: none"> 1. コール中に、 を押します。 2. [Directed Call Park]  () を押して、ダイレクト コール パーク番号に短縮ダイヤルします。 [Directed Call Park]  (点滅) () は、そのダイレクト コールパーク番号が使用できないことを示します。 3. もう一度 [Transfer] を押して、コールの保存を終了します。
ダイレクト コール パーク番号からのパークされたコールを取得する	ネットワーク上の任意の Cisco Unified IP Phone から、パーク取得プレフィクスを入力し、ダイレクト コール パーク番号をダイヤルします。または、パーク取得プレフィクスを入力した後、  (点滅) () を押してコールに接続します。

ヒント

- パークされているコールを取得するまでの時間は制限されていて、その時間を過ぎると元の番号に戻って呼出音が鳴ります。詳細についてはシステム管理者にお問い合わせください。
- システム管理者は、電話機の使用可能な回線ボタンに [Directed Call Park] ボタンを割り当てることができます。
- [Directed Call Park] ボタンが電話機にない場合でも、ダイレクト コール パーク番号にダイヤルできます。ただし、ダイレクト コール パーク番号のステータスは表示されません。

ハント グループからのログアウト

大量の着信コールを受信する組織に属している場合、ハント グループのメンバーになっている可能性があります。ハント グループには、着信コールの負荷を共有する一連の電話番号が設定されています。ハント グループ内の最初の電話番号が使用中の場合は、次に使用可能な番号がグループ内で検索され、その電話機にコールが転送されます。

電話機から離れているときは、ハント グループからログアウトすることによって、ハント グループのコールが自分の電話機で鳴らないようにできます。

目的	操作
ハント グループをログアウトして一時的にハント グループのコールをブロックする	[HLog] を押します。電話機のスクリーンに「Logged out of Hunt Group」と表示されます。
ログインして、ハント グループコールを受信する	[HLog] を押します。ログインすると、[Hunt Group]  ボタンが点灯します。

ヒント

ハント グループからログアウトしても、ハント グループ以外のコールは引き続き着信します。

共有回線の使用

次のような場合、共有回線を使用するようにシステム管理者から求められる可能性があります。

- 複数の電話機を使用しているが、必要な電話番号は1つである場合
- 同僚とコール処理のタスクを分担する場合
- マネージャに代わってコールを処理する場合

共有回線について

リモートで使用中のアイコン

リモートで使用中のアイコン  は、共有回線の別の電話機に接続コールがある場合に表示されます。リモートで使用中のアイコンが表示されていても、通常どおり共有回線でコールを発信  および受信できます。

コール情報の共有と割り込み

回線を共有する各電話機には、共有回線で発信および受信されたコールの情報が表示されます。この情報には、発信者 ID および通話時間が含まれます（例外については、[P.47 の「プライバシー」](#)を参照してください）。

異なるモデルの Cisco Unified IP Phone を使用している同僚と回線を共有している場合、共有回線のアクティブなコールに自分自身を追加（または割り込み）できることがあります。通常、この機能は電話機でサポートされていません。必要な場合は、システム管理者に問い合わせてください。必要ない場合は、同僚がコールに参加しないように、プライバシーを有効にしてください。

プライバシー

回線を共有している同僚に対して自分のコールに関する情報が表示されないようにするには、プライバシー機能を有効にします。プライバシーを有効にすると、回線を共有する他者がコールを表示したり、コールに割り込んだりできなくなります。

共有回線での操作

共有回線のコールの情報を表示したり、同僚が保留にした共有回線のコールを取得したり、他者がコールに割り込むことを防いだりできます。

目的	操作
共有回線が使用中であるか確認する	赤い回線ボタン  (点灯) の横に、リモートで使用中のアイコン  があるかどうかを確認します。
共有回線における現在のコールの詳細を表示する	リモートで使用中の回線の赤い回線ボタン  (点灯) を押します。プライベート コール以外はすべて電話スクリーンのコール アクティビティ領域に表示されます。
共有回線で保留中のコールを取得する	リモートで使用中の回線の赤い回線ボタン  (点滅) を押します。
他者が共有回線のコールを表示したり、コールに割り込んだりするのを防止する	<ol style="list-style-type: none">1. [Private]  () を押します。2. プライバシーがオンになっていることを確認するには、オレンジの回線ボタン  の横にある機能有効アイコン  を確認します。
他者が共有回線のコールを表示したり、コールに割り込んだりするのを許可する	<ol style="list-style-type: none">1. [Private]  () を押します。2. プライバシーがオフになっていることを確認するには、消灯中の回線ボタン  の横にある機能無効アイコン  を確認します。

ヒント

- 自分の回線を共有している電話機がプライバシー機能を有効にしている場合、通常どおり共有回線を使用してコールを発信および受信できます。
- プライバシー機能は、使用している電話機のすべての共有回線に適用されます。その結果、複数の共有回線がある状態でプライバシー機能を有効にすると、同僚はユーザのすべての共有回線のコールを表示できず、コールに割り込めません。

BLF による回線状態の確認

設定に応じて、Busy Lamp Field (BLF; ビジー ランプ フィールド) 機能を使用して、電話機の短縮ダイヤル ボタンに関連付けられている電話回線の状態を確認できます。この回線にコールを発信することは、BLF ステータスにかかわらず可能です。この機能は、ダイヤルを妨げるものではありません。

目的	操作
短縮ダイヤル回線の状態を確認する	<p data-bbox="501 402 1271 467">回線番号のとなりのインジケータを確認します。次のいずれかが表示されます。</p> <ul data-bbox="548 492 884 573" style="list-style-type: none"><li data-bbox="548 492 807 524"> 回線は使用中です。<li data-bbox="548 532 884 573"> 回線はアイドル状態です。

安全なコールの送受信

システム管理者が電話機システムをどのように設定したかによって異なりますが、電話機では安全なコールの送受信がサポートされます。

電話機では、次のタイプのコールがサポートされます。

- **認証されたコール**：コールに参加しているすべての電話機の ID が検証されています。
- **暗号化されたコール**：電話機では、Cisco IP ネットワーク内で暗号化された音声（会話）が送受信されています。暗号化済みのコールは認証済みのコールでもあります。
- **ノンセキュア コール**：参加している電話機または接続の少なくとも 1 つでセキュリティ機能がサポートされていないか、電話機を検証できません。

目的	操作
コールまたは会議のセキュリティ レベルを確認する	コール アクティビティ領域の右上、通話時間タイマーの横にあるセキュリティ アイコンが、次のいずれかの状態になっていることを確認します。  認証されたコールまたは会議  暗号化されたコールまたは会議  ノンセキュアなコールまたは会議
社内で安全なコールを発信できるかどうかを判断する	システム管理者にお問い合わせください。



(注) 相互作用や制約、制限によって、電話機におけるセキュリティ機能の動作が悪影響を受ける場合があります。詳細については、システム管理者にお問い合わせください。

不審なコールのトレース

不審（迷惑）なコールを受信している場合、システム管理者は電話機に Malicious Call Identification (MCID; 迷惑呼 ID) 機能を追加できます。この機能を使用すると、アクティブなコールを不審なコールとして識別できます。その結果、一連のトラッキングと通知のメッセージが自動的に発信されます。

目的	操作
システム管理者に不審なコールまたは嫌がらせのコールの受信を通知する	[MCID] を押します。 電話機でトーンが再生され、「MCID successful」というメッセージが表示されます。

重要なコールの優先順位付け

官庁のような特別な環境では、緊急または重要なコールを発信および受信しなければならない場合があります。この特別なコール処理が必要な場合は、電話機への Multilevel Precedence and Preemption (MLPP) の追加をシステム管理者に依頼します。

次の用語に留意してください。

- *Precedence* : コールに関連付けられたプライオリティを示します。
- *Preemption* : プライオリティの低い既存のコールを終了して、電話機に送信されたプライオリティのより高いコールを受け入れる処理です。

目的または状態	操作
発信コールのプライオリティレベル (Precedence) を選択する	対応するコールの Precedence 番号のリストについては、システム管理者にお問い合わせください。
プライオリティ (Precedence) コールをかける	電話番号の前に、システム管理者から提供された MLPP アクセス番号を入力します。
特別な (通常より速い) 呼出音または特別なコール待機音が聞こえる	プライオリティ (Precedence) コールを受信しています。電話スクリーンの MLPP アイコンが、コールのプライオリティレベルを示します。

目的または状態	操作
コールのプライオリティ レベルを表示する	<p>電話スクリーン上の MLPP アイコンを確認します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ▣ プライオリティ コール ♫ プライオリティのやや高い (即時) コール ♫♫ プライオリティの高い (フラッシュ) コール ♫♫♫ プライオリティの最も高い (フラッシュ オーバーライド) コール、つまりエグゼクティブ オーバーライド コール <p>より高いプライオリティのコールが、コール リストの先頭に表示されます。MLPP アイコンが表示されていない場合、コールのプライオリティ レベルは通常 (ルーチン) です。</p>
コールを中断する音が連続的に聞こえる	<p>自分または通話相手が、現在のコールより優先されるべきコールを受信しています。すぐに切断して、プライオリティのより高いコールの呼出音が鳴るようにします。</p>

ヒント

- MLPP が有効なコールを発信または受信すると、標準のトーンとは異なる特別な呼出音とコール待機音が鳴ります。
- Multilevel Precedence and Preemption (MLPP) を使用すると、サイレント (DND) 機能が無効になります。
- 無効な MLPP アクセス番号を入力すると、音声通知でエラーを警告されます。
- 次の場合には、MLPP が有効なコールのプライオリティと優先ステータスがそのまま維持されます。
 - コールを保留にする
 - コールを転送する
 - コールを 3 者会議に追加する
 - ピックアップを使用してコールに応答する

Cisco エクステンション モビリティの使用

Cisco Extension Mobility (EM; エクステンション モビリティ) を使用すると、Cisco Unified IP Phone を一時的に自分の電話機として設定できます。EM にログインすると、電話回線、機能、設定済みのサービス、Web ベースの設定などのユーザ プロファイルが電話機に採用されます。EM は、システム管理者がユーザに対して設定する必要があります。

目的	操作
EM にログインする	<ol style="list-style-type: none"> 1.  () > [Services] > [EM Service] を選択します (名前は異なる場合があります)。 2. システム管理者によって提供されたユーザ ID と PIN を入力します。 3. プロンプトが表示されたら、デバイス プロファイルを選択します。
EM からログアウトする	<ol style="list-style-type: none"> 1.  () > [Services] > [EM Service] を選択します (名前は異なる場合があります)。 2. ログアウトを求めるプロンプトが表示されたら、[Yes] を押します。

ヒント

- 一定期間が過ぎると、ユーザは EM から自動的にログアウトされます。この時間制限は、システム管理者が設定します。
- ユーザ オプション Web ページを使用して EM プロファイルに加えた変更は、電話機で EM にログインしている場合はすぐに有効になります。ログインしていない場合は、次回ログインしたときに有効になります。
- ユーザ オプション Web ページを使用して電話機に加えた変更は、EM からログアウトしている場合はすぐに有効になります。ログアウトしていない場合は、ログアウトした後に有効になります。
- 電話機によって制限を受けるローカル設定は、EM プロファイルには保存されません。

1つの電話番号を使用したビジネス コールの管理

モバイル コネクトと モバイル ボイス アクセスをインストールしておく、デスクトップの電話番号に関連付けられているコールを携帯電話で処理できます。スマートフォンは、Web ブラウジング、電子メール、アドレス帳、カレンダーといったパーソナル コンピュータの機能を備えたモバイル電話機の一つです。

目的	操作
モバイル コネクトを設定する	ユーザオプション Web ページを使用して、リモート接続先を設定し、特定の電話番号からのコールがリモート接続先に渡されるのを許可またはブロックするためのアクセス リストを作成します。 P.84 の「Cisco WebDialer の使用方法」 を参照してください。
携帯電話を使用して、コールに応答する	P.24 の「コールへの応答」 を参照してください。
処理中のコールをデスクトップ電話機と携帯電話の間で切り替える	P.29 の「進行中のコールの他の電話機への切り替え」 を参照してください。
スマートフォンで応答したコールを保留にする	<ol style="list-style-type: none">1. スマートフォンの [<i>Enterprise Hold</i>] (正確なソフトキー名は異なる場合があります) ソフトキーを押します。 通話相手が保留状態になります。2. スマートフォンの [<i>Resume</i>] (正確なソフトキー名は異なる場合があります) ソフトキーを押します。P.29 の「進行中のコールの他の電話機への切り替え」を参照してください。
スマートフォンで応答したコールを別の番号に転送する	<ol style="list-style-type: none">1. スマートフォンの [<i>Enterprise Transfer</i>] (正確なソフトキー名は異なる場合があります) ソフトキーを押します。2. コールを転送するエンタープライズ アクセス コードをダイヤルして、新規コールを開始します。通話相手が保留状態になります。3. [<i>Enterprise Transfer</i>] ソフトキーを押して、コール転送を完了します。
スマートフォンで応答したコールで、会議コールを開始する	<ol style="list-style-type: none">1. スマートフォンの [<i>Enterprise Conference</i>] (正確なソフトキー名は異なる場合があります) ソフトキーを押します。2. 会議のエンタープライズ アクセス コードをダイヤルして、新規コールを開始します。通話相手が保留状態になります。3. [<i>Enterprise Conference</i>] ソフトキーを押して会議の設定と、両方の発信者を会議に含める手順を完了します。

目的	操作
モバイル ボイス アクセスに接続する	<ol style="list-style-type: none"> 1. 任意の電話機から、割り当て済みのモバイル ボイス アクセスの番号にダイヤルします。 2. 発信番号（要求された場合）と PIN を入力します。
携帯電話からモバイル コネクトを有効にする	<ol style="list-style-type: none"> 1. ユーザに割り当てられているモバイル ボイス アクセスの番号にダイヤルします。 2. 携帯電話の番号（要求された場合）と PIN を入力します。 3. 2 を押してモバイル コネクトを有効にします。 4. 次のように、設定したすべての電話機に対してモバイル コネクトを有効化するか 1 台のみで有効化するかを選択します。 <ul style="list-style-type: none"> - すべての電話機：2 を押します。 - 1 台の電話機：1 を押して、リモート接続先として追加する番号を入力し、# を押します。
携帯電話からコールを発信する	P.22 の「 コールの発信：追加のオプション 」を参照してください。
携帯電話からモバイル コネクトを無効にする	<ol style="list-style-type: none"> 1. ユーザに割り当てられているモバイル ボイス アクセスの番号にダイヤルします。 2. 携帯電話の番号（要求された場合）と PIN を入力します。 3. 3 を押してモバイル コネクトを無効にします。 4. 次のように、設定したすべての電話機に対してモバイル コネクトを無効化するか 1 台のみで無効化するかを選択します。 <ul style="list-style-type: none"> - すべての電話機：2 を押します。 - 1 台の電話機：1 を押して、リモート接続先から削除する番号を入力し、# を押します。

ヒント

- 次の条件が当てはまる場合、モバイル ボイス アクセスにコールするときは PIN に加えて発信番号も入力する必要があります。
 - 発信している番号がリモート接続先の番号でない場合。
 - 通信事業者によって番号がブロックされている（「Unknown Number」と表示される）場合。
 - 番号が Cisco Unified Communications Manager のデータベースと完全には一致しない場合。たとえば、ユーザの番号が 510-666-9999 でデータベースに一覧されている番号が 666-9999 の場合や、ユーザの番号が 408-999-6666 でデータベースには 1-408-999-6666 と入力されている場合などがこれに当てはまります。
- 要求された情報（携帯電話の番号または PIN）の入力を 3 回連続して誤ると、モバイル ボイス アクセス コールから切断され、一定の時間ロックアウトされます。この場合はシステム管理者に連絡してサポートを受けてください。

ハンドセット、ヘッドセット、およびスピーカフォンの使用方法

電話機は、ハンドセット、ヘッドセット、またはスピーカフォンで使用できます。

目的	操作
ハンドセットを使う	オフフックにするにはハンドセットを取り上げます。オンフックにするにはハンドセットを受け台に戻します。
ヘッドセットを使う	<p> () を押して、ヘッドセットモードのオンとオフを切り替えます (通常、ヘッドセットはボタン 23 に割り当てられます)。ヘッドセットは、音量ボタンや  など、電話機のすべての制御で使用できます。</p> <p>自動応答を使用する場合は、P.58 の「自動応答の使用」を参照してください。</p> <p>ワイドバンドをサポートするヘッドセットを使用する場合は、電話機でワイドバンド設定を有効にすると、音声の感度が向上することがあります (この設定は、デフォルトでは無効です)。この設定にアクセスするには、 () > [Settings] > [User Preferences] > [Audio Preferences] > [Wideband Headset] を選択します。[Wideband Headset] 設定がグレー表示されている場合、ユーザはこの設定を制御できません。</p> <p>電話機のシステムでワイドバンドを使用するように設定されていることを、システム管理者に確認してください。システムがワイドバンド対応に設定されていない場合は、ワイドバンドヘッドセットを使用してもオーディオの感度が上がったとは感じられない場合があります。ヘッドセットの詳細については、ヘッドセットのマニュアルを参照するか、システム管理者に問い合わせてください。</p>
スピーカフォンを使う	<p> を押して、スピーカフォンモードのオンとオフを切り替えます。</p> <p>ハンドセットが受け台にあり、 (ヘッドセット) が点灯していない場合は、番号のダイヤルまたはコールの応答で実行できる多くの操作で、スピーカフォンモードが自動的に切り替わります。</p>

目的	操作
コール中に(ハンドセットから)スピーカフォンまたはヘッドセットに切り替える	 または  を押し、ハンドセットを置きます。
コール中に(スピーカフォンまたはヘッドセットから)ハンドセットに切り替える	ハンドセットを取り上げます(ボタンは押しません)。
コールの音量レベルを調節する	<p>コール中またはダイヤル トーンが聞こえているときに音量ボタンを押します。</p> <p>この操作によって、使用中のハンドセット、スピーカフォン、またはヘッドセットの音量が調整されます。</p> <p>以降のコール用に音量レベルを保存するには、[Save] を押します。</p>

ヘッドセットの入手

電話機には、4 線または 6 線のヘッドセット ジャックが付いています。ヘッドセットの購入については、P.6 の「[ヘッドセットについて](#)」を参照してください。

自動応答の使用

自動応答が有効になっている場合、電話機では呼出音が2、3回鳴った後で着信コールが自動的に応答されます。システム管理者が、スピーカフォンまたはヘッドセットを使用する自動応答を設定します。大量の着信コールを受け付ける場合、自動応答を使用すると便利です。

目的または状態	操作
ヘッドセットで自動応答を使用する	<p>コールがない間も、ヘッドセット モードをアクティブにしたまま (● (●)) が点灯したまま) にします。</p> <p>ヘッドセット モードをアクティブのままにするには、次のように操作します。</p> <ul style="list-style-type: none">• [EndCall] を押して切断します。• [New Call] または [Dial] を押して、新規コールを発信します。 <p>ヘッドセット モードで自動応答を使用するように電話機が設定されている場合、● (●) が点灯している場合にのみ、コールに自動的に応答します。その状態でない場合は、通常どおりコールの呼出音が鳴るので、手動でそのコールに応答する必要があります。</p>
スピーカフォンで自動応答を使用する	<p>ハンドセットを受け台に置き、ヘッドセット モードを非アクティブのままにします (● (●) が消灯)。</p> <p>その状態でない場合は、通常どおりコールの呼出音が鳴るので、手動でそのコールに応答する必要があります。</p>

ヒント

自動応答は、サイレント機能がアクティブの場合は無効になります。

電話機の設定の変更

呼出音、音量、およびその他の設定を調整することにより、Cisco Unified IP Phone をカスタマイズできます。

呼出音およびメッセージ インジケータのカスタマイズ

着信コールおよび新しいボイスメール メッセージを電話機で示す方法をカスタマイズできます。また、電話機の呼出音の音量も調整できます。

目的	操作
回線ごとに呼出音を変更する	<ol style="list-style-type: none"> 1.  > [Settings] > [User Preferences] > [Rings] を選択します。 2. 電話回線またはデフォルトの呼出音設定を選択します。 3. 呼出音を選択すると、サンプルが再生されます。 4. [Select]、[Save] の順に押して呼出音を設定するか、[Cancel] を押します。
電話機の呼出音の音量レベルを調節する	<p>ハンドセットを受け台に置き、ヘッドセット ボタンとスピーカフォン ボタンをオフにして、音量ボタンを押します。設定した呼出音の音量が自動的に保存されます。</p>
ハンドセットにあるボイスメッセージのランプの動作を変更する	<ol style="list-style-type: none"> 1. ユーザ オプション Web ページにログインします(P.72 の「ユーザ オプション Web ページへのアクセス」 を参照してください)。 2. メッセージ インジケータの設定にアクセスします (P.80 の「Web での回線設定の制御」 を参照してください)。 <p> (注) 通常、デフォルトのシステム ポリシーでは、ハンドセットのライト ストリップのランプが点灯して、新しいボイスメッセージがあることが示されます。</p>
電話機の可聴ボイス メッセージ インジケータの鳴り方を変更する	<ol style="list-style-type: none"> 1. ユーザ オプション Web ページにログインします(P.72 の「ユーザ オプション Web ページへのアクセス」 を参照してください)。 2. メッセージ インジケータの設定にアクセスします (P.80 の「Web での回線設定の制御」 を参照してください)。

電話スクリーンのカスタマイズ

電話スクリーンの特性を調整できます。

目的	操作
電話スクリーンの明るさを変更する	<ol style="list-style-type: none">1.  () > [Settings] > [User Preferences] > [Brightness] を選択します。2. 調整するには、音量ボタンを押します。3. [Save] を押すか、[Cancel] を押します。
電話スクリーンの言語を変更する	<ol style="list-style-type: none">1. ユーザ オプション Web ページにログインします (P.72 の「ユーザ オプション Web ページへのアクセス」を参照してください)。2. ユーザ設定にアクセスします (P.79 の「Web でのユーザ設定の制御」を参照してください)。
回線テキスト ラベルを変更する	<ol style="list-style-type: none">1. ユーザ オプション Web ページにログインします (P.72 の「ユーザ オプション Web ページへのアクセス」を参照してください)。2. 回線ラベルの設定にアクセスします (P.80 の「Web での回線設定の制御」を参照してください)。
コントラストを調整する	<ol style="list-style-type: none">1.  () > [Settings] > [User Preferences] > [Contrast] を選択します。2. 調整するには、音量ボタンを押します。3. [Save] を押すか、[Cancel] を押します。
バックライトをオフにする	このオプション機能を使用できるかどうかについて、システム管理者に問い合せてください。この機能により、バックライトをあらかじめ決めておいた時間(システム管理者が設定)にオフにできます。

履歴およびディレクトリの使用方法

この項では、履歴およびディレクトリの使用方法について説明します。どちらの機能にも、[Directories] ボタン  () > [Directories] でアクセスします。

履歴の使用方法

電話機は、履歴を保持します。履歴には、不在履歴、発信履歴、および着信履歴のレコードが含まれます。

目的	操作
履歴を表示する	 () > [Directories] > [Missed Calls]、[Placed Calls]、または [Received Calls] を選択します。それぞれに最大 100 件までのレコードを保存できます。
1 つのコール レコードの詳細を表示する	<ol style="list-style-type: none"> 1.  () > [Directories] > [Missed Calls] [Placed Calls] または [Received Calls] を選択します。 2. コール レコードを強調表示します。 3. [Details] を押します。この操作により、着信番号、発呼番号、時刻、通話時間（発信履歴と着信履歴の場合のみ）などの情報が表示されます。
すべての履歴からすべてのコール レコードを削除する	 () > [Directories] を選択し、[Clear] を押します。
1 つの履歴からすべてのコール レコードを削除する	<ol style="list-style-type: none"> 1.  () > [Directories] > [Missed Calls] [Placed Calls] または [Received Calls] を選択します。 2. コール レコードを強調表示します。 3. [Clear] を押します（必要に応じて [more] ソフトキーを押して、[Clear] を表示します）。
1 つのコール レコードを削除する	<ol style="list-style-type: none"> 1.  () > [Directories] > [Missed Calls] [Placed Calls] または [Received Calls] を選択します。 2. コール レコードを強調表示します。 3. [Delete] を押します。

目的	操作
インターコム コールの履歴を表示する	 () > [Directories] > [Intercom History] を選択します。最新 25 件のインターコム コールの詳細が記録されています。この画面からインターコム番号をダイヤルすることはできません。
履歴からダイヤルする（別のコールに接続されていないとき）	<ol style="list-style-type: none"> 1.  () > [Directories] > [Missed Calls] [Placed Calls] または [Received Calls] を選択します。 2. コールレコードを強調表示します。 <hr/> <p> (注) [Details] ソフトキーが表示される場合、そのコールはマルチパーティ コールのプライマリ エントリです。後述の「ヒント」を参照してください。</p> <hr/> <ol style="list-style-type: none"> 3. 表示された番号を編集する必要がある場合は、[EditDial] を押してから、<< または >> を押します。番号を削除するには、[EditDial] を押してから、[Delete] を押します（必要に応じて、[more] ソフトキーを押して、[Delete] を表示します）。 4. コールを発信するには、オフフックにします。

目的	操作
履歴からダイヤルする（別のコールに接続されているとき）	<ol style="list-style-type: none"> 1.  () > [Directories] > [Missed Calls] [Placed Calls] または [Received Calls] を選択します。 2. コールレコードを強調表示します。 <hr/> <p>(注)  [Details] ソフトキーが表示される場合、そのコールはマルチパーティコールのプライマリエントリです。後述の「ヒント」を参照してください。</p> <hr/> <ol style="list-style-type: none"> 3. 表示された番号を編集する必要がある場合は、[EditDial] を押してから、<< または >> を押します。番号を削除するには、[EditDial] を押してから、[Delete] を押します（必要に応じて、[more] ソフトキーを押して、[Delete] を表示します）。 4. [Dial] を押します。 5. メニュー項目を選択して、元のコールを処理します。 <ul style="list-style-type: none"> - [Hold]: 最初のコールを保留にして、2 番目のコールをダイヤルします。 - [Transfer]: 最初の通話相手を 2 番目の通話相手に転送し、自分のコールを終了します（操作を完了するには、ダイヤルした後で  をもう一度押します）。 - [Conference]: 自分とすべての通話相手との間で会議コールを作成します（操作を完了するには、ダイヤルした後で  () をもう一度押します）。 - [EndCall]: 最初のコールを切断して、2 番目のコールをダイヤルします。

ヒント

マルチパーティコール（転送したコールや転送されたコールなど）の完全なコールレコードを表示するには、コールレコードを強調表示して、[Details] を押します。詳細レコードでは、不在または着信のマルチパーティコールごとに 2 つのエントリが表示されます。エントリは、新しい順に表示されません。

- 最初の履歴エントリは、電話機で受信したマルチパーティコールのうち、最後に完了したコールの名前と番号です。
- 2 番目の履歴エントリは、電話機で受信したマルチパーティコールのうち、最初に完了したコールの名前と番号です。

ディレクトリ ダイヤル

設定に応じて、電話機は次のような社内ディレクトリおよびパーソナル ディレクトリの機能を提供します。

- 社内ディレクトリ：電話機でアクセスできる社内の連絡先。社内ディレクトリは、システム管理者が設定し、保守します。
- パーソナル ディレクトリ：(使用可能な場合) 電話機やユーザ オプション Web ページからユーザによる設定とアクセスが可能な、個人用の連絡先および関連付けられた短縮ダイヤル コード。パーソナル ディレクトリは、Personal Address Book (PAB; 個人アドレス帳) とファースト ダイヤルで構成されています。
 - PAB は、個人の連絡先のディレクトリです。
 - ファースト ダイヤルを使用すると、簡単にダイヤルできる短縮ダイヤル機能用に、コードを PAB エントリに割り当てることができます。

電話機での社内ディレクトリの使用方法

社内ディレクトリを使用すると、同僚へのコールを発信できます。

目的	操作
社内ディレクトリからダイヤルする（別のコールに接続されていないとき）	<ol style="list-style-type: none"> 1.  () > [Directories] > [Corporate Directory] を選択します（正確な名前は異なる場合があります）。 2. キーパッドを使用して、正式な名前または名前の一部を入力し、[Search] を押します。 3. ダイヤルするには、リスト項目を押すか、リスト項目までスクロールして、オフフックにします。
社内ディレクトリからダイヤルする（別のコールに接続されているとき）	<ol style="list-style-type: none"> 1.  () > [Directories] > [Corporate Directory] を選択します（正確な名前は異なる場合があります）。 2. キーパッドを使用して、正式な名前または名前の一部を入力し、[Search] を押します。 3. 番号までスクロールし、[Dial] を押します。 4. メニュー項目を選択して、元のコールを処理します。 <ul style="list-style-type: none"> - [Hold]: 最初のコールを保留にして、2 番目のコールをダイヤルします。 - [Transfer]: 最初の通話相手を 2 番目の通話相手に転送し、自分のコールを終了します（操作を完了するには、ダイヤルした後で  をもう一度押します）。 - [Conference]: 自分とすべての通話相手との間で会議コールを作成します（操作を完了するには、ダイヤルした後で  () をもう一度押します）。 - [EndCall]: 最初のコールを切断して、2 番目のコールをダイヤルします。

ヒント

電話スクリーンに文字を入力するには、キーパッドの数字を使用します。入力フィールド間を移動するには、電話機のナビゲーション ボタンを使用します。

電話機でのパーソナルディレクトリの使用方法

パーソナルディレクトリ機能セットには、Personal Address Book (PAB; 個人アドレス帳) とファーストダイヤルが含まれています。この項では、電話機でパーソナルディレクトリを設定して使用方法について説明します。P.73の「Webでのパーソナルディレクトリの使用方法」も参照してください。

目的	操作
パーソナルディレクトリにアクセスする (PAB およびファーストダイヤルコードの検索のため)	<ol style="list-style-type: none">1.  (☎) > [Directories] > [Personal Directory] を選択します (正確な名前は異なる場合があります)。2. Cisco Unified Communications Manager のユーザ ID と PIN を入力し、[Submit] を押します。
PAB エントリを検索する	<ol style="list-style-type: none">1. パーソナルディレクトリにアクセスしてから、[Personal Address Book] を選択します。2. 検索基準を入力し、[Submit] を押します。3. [Previous] または [Next] を選択して、リスト内を移動できます。4. 目的の PAB リスト項目を強調表示し、[Select] を押します。
PAB エントリからダイヤルする	<ol style="list-style-type: none">1. リスト項目を検索します。2. 目的のリスト項目を強調表示し、[Select] を押します。3. [Dial] を押します (必要に応じて [more] ソフトキーを押して、[Dial] を表示します)。4. 参加者の電話番号を入力します。5. ダイヤルする番号を強調表示し、[OK] を押します。6. 再び [OK] を押して番号をダイヤルします。
PAB エントリを削除する	<ol style="list-style-type: none">1. リスト項目を検索します。2. 目的のリスト項目を強調表示し、[Select] を押します。3. [Delete] を押します。4. [OK] を選択し、削除を確定します。
PAB エントリを編集する	<ol style="list-style-type: none">1. リスト項目を検索します。2. 目的のリスト項目を強調表示し、[Edit] を押して、名前または電子メールアドレスを変更します。3. 必要に応じて、[Phones] を選択し、電話番号を変更します。4. [Update] を押します。

目的	操作
新しいPAB エントリを追加する	<ol style="list-style-type: none"> 1. パーソナルディレクトリにアクセスしてから、[Personal Address Book] を選択します。 2. [Submit] を選択して [Search] ページにアクセスします (最初に検索情報を入力する必要はありません)。 3. [New] を押します。 4. 電話機のキーパッドを使用して、名前と電子メール情報を入力します。 5. [Phones] を選択し、キーパッドを使用して電話番号を入力します。必要なアクセスコード(9 や 1 など)を必ず含めてください。 6. [Submit] を選択し、エントリをデータベースに追加します。
PAB エントリにファースト ダイヤル コードを割り当てる	<ol style="list-style-type: none"> 1. PAB エントリを検索します。 2. 目的のリスト項目を強調表示し、[Select] を押します。 3. [Fast Dial] を押します。 4. ダイヤルする番号を強調表示し、[Select] を押します。 5. その番号に割り当てるファースト ダイヤル コードを強調表示し、[Select] を押します。
新しいファースト ダイヤル コードを追加する (PAB エントリを使用しない)	<ol style="list-style-type: none"> 1.  > [Directories] > [Personal Directory] > [Personal Fast Dials] を選択します。 2. [Fast Dial] を押します。 3. 割り当てられていないファースト ダイヤル コードを強調表示し、[Select] を押します。 4. [Assign] を押します。 5. 電話番号を入力します。 6. [Update] を押します。
ファースト ダイヤル コードを検索する	<ol style="list-style-type: none"> 1.  > [Directories] > [Personal Directory] > [Personal Fast Dials] を選択します。 2. [Previous] または [Next] を選択して、リスト内を移動できます。 3. 目的のリスト項目を強調表示し、[Select] を押します。
ファースト ダイヤル コードを使用してコールを発信する	<ol style="list-style-type: none"> 1. ファースト ダイヤル コードを検索します。 2. 目的のリスト項目を強調表示し、[Select] を押します。 3. [Dial] を押します。 4. [OK] を選択し、操作を完了します。

目的	操作
ファースト ダイアル コードを削除する	<ol style="list-style-type: none"> 1. ファースト ダイアル コードを検索します。 2. 目的のリスト項目を強調表示し、[Select] を押します。 3. [Remove] を押します。
パーソナル ディレクトリからログアウトする	<ol style="list-style-type: none"> 1.  () > [Directories] > [Personal Directory] を選択します (正確な名前は異なる場合があります)。 2. [Logout] を選択します。

ヒント

- パーソナルディレクトリへのログインに必要なユーザ ID と PIN は、システム管理者から提供されます。
- 一定期間が過ぎると、ユーザはパーソナル ディレクトリから自動的にログアウトされます。この時間制限はさまざまです。詳細については、システム管理者にお問い合わせください。
- 電話スクリーンに文字を入力するには、キーパッドの数字を使用します。入力フィールド間を移動するには、電話機のナビゲーション ボタンを使用します。

ボイス メッセージへのアクセス

ボイス メッセージにアクセスするには、メッセージ ボタン  () > [Messages] を使用します。



(注) お使いの電話機システムが使用するボイス メッセージ サービスは、会社によって決定されず。詳細については、ボイス メッセージ サービスに付属のマニュアルを参照してください。

目的	操作
ボイス メッセージ サービスの個人設定を行う	<p> () > [Messages] を押して、音声の指示に従います。</p> <p>電話スクリーンにメニューが表示された場合は、適切なメニュー項目を選択します。</p>
新しいボイス メッセージをチェックする	<p>次の点を確認します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • ハンドセットの赤いランプの点灯 (このインジケータは異なる場合があります。P.59 の「呼出音およびメッセージ インジケータのカスタマイズ」を参照してください) • 電話スクリーンのメッセージ受信アイコン  とテキスト メッセージ <p> (注) 赤いランプとメッセージ受信アイコンは、プライマリ回線にメッセージがある場合にのみ表示されます。他の回線でボイス メッセージを受信しても、プライマリ回線にメッセージがなければ表示されません。</p> <p>次の音を確認します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • コールを発信したときの、ハンドセット、ヘッドセット、またはスピーカフォンからのスタッタ音 <p> (注) スタッタ音は回線に固有です。スタッタ音は、メッセージを受信した回線を使用しているときにだけ聞こえます。</p>

目的	操作
ボイス メッセージを聞く、またはボイス メッセージ メニューにアクセスする	 () > [Messages] を押します。 ボイス メッセージ サービスに応じて、メッセージ サービスへの自動ダイヤルが発生するか、電話スクリーンにメニューが表示されません。
ボイス メッセージ システムにコールを送信する	[iDivert] を押します。詳細については、 P.31 の「ボイス メッセージ システムへのコールの送信」 を参照してください。

ユーザ オプション Web ページの使用法

Cisco Unified IP Phone は、社内の他のネットワーク デバイス（パーソナル コンピュータを含む）と情報を共有できるネットワーク デバイスです。コンピュータを使用して、Cisco Unified CM ユーザ オプション Web ページにログインし、ここで Cisco Unified IP Phone の機能、設定、およびサービスを制御できます。たとえば、ユーザ オプション Web ページから短縮ダイヤル ボタンを設定できます。

ユーザ オプション Web ページへのアクセス

この項では、ログインして電話デバイスを選択する方法について説明します。

目的	操作
ユーザ オプション Web ページにログインする	<ol style="list-style-type: none">1. ユーザ オプション Web ページの URL、ユーザ ID、およびデフォルトのパスワードをシステム管理者から入手します。2. コンピュータで Web ブラウザを起動し、URL を入力してログインします。3. セキュリティ設定の受け入れを求めるプロンプトが表示されたら、[はい] または [証明書のインストール] をクリックします。 Cisco Unified Communications Manager ユーザ オプションのメインの Web ページが表示されます。このページから、[ユーザオプション] を選択して、ユーザ設定、ディレクトリ機能、個人アドレス帳、およびファースト ダイアルにアクセスできます。 また、電話機固有のオプションにアクセスするには、デバイスを選択します（次を参照してください）。
ログイン後にデバイスを選択する	<ol style="list-style-type: none">1. ユーザ オプション Web ページにログインした後、[ユーザオプション] > [デバイス] を選択します。 [デバイス設定] ページが表示されます。2. 複数のデバイスが割り当てられている場合は、[名前] ドロップダウンメニューから適切なデバイス（電話機モデル、エクステンション モビリティ プロファイル、またはリモート接続先プロファイル）を選択します。 <p> (注) [デバイス設定] ページの上のツールバー ボタンは、選択したデバイス タイプに固有です。</p>
ログイン後に設定オプションを選択する	<ol style="list-style-type: none">1. ユーザ オプション Web ページにログインした後、[ユーザオプション] を選択して、ユーザ設定、ディレクトリ、個人アドレス帳、ファースト ダイアル、およびモビリティ設定にアクセスします。2. 別のページから [デバイス設定] ページに戻るには、[ユーザオプション] > [デバイス] を選択します。

Web での機能とサービスの設定

この項の各トピックでは、ログイン後にユーザ オプション Web ページから機能とサービスを設定する方法について説明します。P.72 の「ユーザ オプション Web ページへのアクセス」を参照してください。

Web でのパーソナル ディレクトリの使用方法

コンピュータでアクセスできるパーソナル ディレクトリ機能セットは、次の要素で構成されています。

- Personal Address Book (PAB; 個人アドレス帳)
- ファースト ダイヤル
- Cisco Unified Communications Manager Address Book Synchronizer



(注) 電話機から PAB およびファースト ダイヤルにアクセスすることもできます。P.66 の「電話機でのパーソナル ディレクトリの使用方法」を参照してください。

Web での個人アドレス帳の使用方法

この項では、ユーザ オプション Web ページから PAB を使用方法について説明します。

目的	ログインした後の操作
新しい PAB エントリを追加する	<ol style="list-style-type: none"> 1. [ユーザオプション] > [個人アドレス帳] を選択します。 2. [新規追加] をクリックします。 3. エントリの情報を入力します。 4. [保存] をクリックします。
PAB エントリを検索する	<ol style="list-style-type: none"> 1. [ユーザオプション] > [個人アドレス帳] を選択します。 2. 検索情報を指定して、[検索] をクリックします。
PAB エントリを編集する	<ol style="list-style-type: none"> 1. PAB エントリを検索します。 2. 名前またはニックネームをクリックします。 3. 必要に応じてエントリを編集し、[保存] をクリックします。
PAB エントリを削除する	<ol style="list-style-type: none"> 1. PAB エントリを検索します。 2. 1 つ以上のエントリを選択します。 3. [選択項目の削除] をクリックします。

Web でのファーストダイヤルの設定

この項では、ユーザ オプション Web ページからファーストダイヤルを割り当てる方法について説明します。

目的	ログインした後の操作
PAB エントリにファーストダイヤルコードを割り当てる	<ol style="list-style-type: none">1. PAB エントリを作成します。P.73 の「Web での個人アドレス帳の使用方法」を参照してください。2. [ユーザオプション]>[ファーストダイヤル]を選択します。3. [新規追加]をクリックします。4. [検索オプション]領域を使用して、適切な PAB エントリを見つけます。5. [検索結果]領域で、電話番号をクリックします。6. 必要に応じて、ファーストダイヤルコードを変更します。7. [保存]をクリックします。
電話番号にファーストダイヤルコードを割り当てる(PAB エントリを使用しない)	<ol style="list-style-type: none">1. [ユーザオプション]>[ファーストダイヤル]を選択します。2. [新規追加]をクリックします。3. 必要に応じて、ファーストダイヤルコードを変更します。4. 電話番号を入力します。5. [保存]をクリックします。
ファーストダイヤル エントリを検索する	<ol style="list-style-type: none">1. [ユーザオプション]>[ファーストダイヤル]を選択します。2. 検索情報を指定して、[検索]をクリックします。
ファーストダイヤルの電話番号を編集する	<ol style="list-style-type: none">1. [ユーザオプション]>[ファーストダイヤル]を選択します。2. 編集するファーストダイヤル エントリを検索します。3. エントリのコンポーネントをクリックします。4. 電話番号を変更します。5. [保存]をクリックします。
ファーストダイヤル エントリを削除する	<ol style="list-style-type: none">1. ファーストダイヤルを検索します。2. 1つ以上のエントリを選択します。3. [選択項目の削除]をクリックします。

ヒント

- 最大 500 個のファースト ダイアル エントリおよび PAB エントリを作成できます。
- PAB エントリを使用せずに新しいファースト ダイアル エントリを作成できます。そのようなファースト ダイアル エントリにはユーザ オプション Web ページで「raw」というラベルが付いており、設定可能なテキスト ラベルが表示されません。

アドレス帳同期ツールの使用方法

アドレス帳同期ツール (TABSynch) を使用して、既存の Microsoft Windows アドレス帳 (存在する場合) を PAB と同期させることができます。同期させると、Cisco Unified IP Phone およびユーザ オプション Web ページから Microsoft Windows アドレス帳のエントリにアクセスできるようになります。TABSynch へのアクセス方法と使用方法の詳細な情報については、システム管理者に確認してください。

Web での短縮ダイヤルの設定

設定に応じて、電話機は次のような短縮ダイヤル機能をサポートします。

- 短縮ダイヤル ボタン
- 固定短縮ダイヤル
- ファースト ダイアル



(注) 短縮ダイヤル機能の使用方法については、P.41 の「短縮ダイヤル」を参照してください。

目的	ログインした後の操作
短縮ダイヤル ボタンを設定する	<ol style="list-style-type: none"> 1. [ユーザオプション] > [デバイス] を選択します。 2. [名前] ドロップダウン メニューから電話機を選択します。 3. [短縮ダイヤル] をクリックします。 4. 電話機の短縮ダイヤル ボタン (プログラマブル ボタン) の番号とラベルを入力します。 5. [保存] をクリックします。 <div style="text-align: center; margin-top: 10px;">  </div> <hr style="border: 1px solid black; margin: 5px 0;"/> <p>(注) 電話機は ASCII ラベル フィールドを使用します。</p>
固定短縮ダイヤルを設定する	<ol style="list-style-type: none"> 1. [ユーザオプション] > [デバイス] を選択します。 2. [名前] ドロップダウン メニューから電話機を選択します。 3. [短縮ダイヤル] をクリックします。 4. 固定短縮ダイヤル コードの番号とラベルを入力します。 5. [保存] をクリックします。
ファースト ダイヤルを設定する	<p>P.74 の「Web でのファースト ダイヤルの設定」を参照してください。</p> <p>電話機でファースト ダイヤルを設定することもできます。P.66 の「電話機でのパーソナル ディレクトリの使用方法」を参照してください。</p>

Web での電話機サービスの設定

電話機サービスには、特別な電話機機能、ネットワーク データ、および Web ベースの情報（株式相場、映画情報など）が含まれます。電話機で電話機サービスにアクセスするには、まず電話機サービスに登録する必要があります。

目的	ログインした後の操作
サービスに登録する	<ol style="list-style-type: none"> 1. [ユーザオプション] > [デバイス] を選択します。 2. [名前] ドロップダウン メニューから電話機を選択します。 3. [電話サービス] をクリックします。 4. [新規追加] をクリックします。 5. ドロップダウン リストからサービスを選択し、[次へ] をクリックします。 6. （省略可能）可能な場合は、サービス ラベルを変更したり、追加のサービス情報を入力したりします。 7. [保存] をクリックします。
サービスを検索する	<ol style="list-style-type: none"> 1. デバイスを選択します。 2. [電話サービス] をクリックします。 3. [検索] をクリックします。
サービスを変更または解除する	<ol style="list-style-type: none"> 1. サービスを検索します。 2. 1 つ以上のエントリを選択します。 3. [選択項目の削除] をクリックします。
サービス名を変更する	<ol style="list-style-type: none"> 1. サービスを検索します。 2. サービス名をクリックします。 3. 情報を変更して、[保存] をクリックします。

目的	ログインした後の操作
使用可能なプログラマブル電話機ボタン  にサービスを追加する	<ol style="list-style-type: none"> 1. [ユーザオプション] > [デバイス] を選択します。 2. [名前] ドロップダウン メニューから電話機を選択します。 3. [サービス URL] をクリックします。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p> (注) このオプションが表示されない場合は、電話機にサービス URL ボタンを設定するようにシステム管理者に依頼してください。</p> </div> 4. [ボタン サービス] ドロップダウン リストからサービスを選択します。 5. サービスの名前を変更するには、ラベル フィールドを編集します。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p> (注) 2 バイト文字セットをサポートしていない電話機は ASCII ラベル フィールドを使用します。</p> </div> 6. [保存] をクリックします。 7. [リセット] をクリックして、電話機をリセットします (新しいボタン ラベルを電話機に表示するために必要です)。
電話機からサービスにアクセスする	 () > [Services] を選択します。

Web でのユーザ設定の制御

ユーザ設定には、パスワード、PIN、および言語（ロケール）の設定が含まれます。

目的	ログインした後の操作
パスワードを変更する	<ol style="list-style-type: none"> 1. [ユーザオプション] > [ユーザ設定] を選択します。 2. [ブラウザのパスワード] 領域で、情報を入力します。 3. [保存] をクリックします。
PIN を変更する	<ol style="list-style-type: none"> 1. [ユーザオプション] > [ユーザ設定] を選択します。 2. [電話の PIN] 領域で、情報を入力します。 3. [保存] をクリックします。
ユーザ オプション Web ページの言語（ロケール）を変更する	<ol style="list-style-type: none"> 1. [ユーザオプション] > [ユーザ設定] を選択します。 2. [ユーザロケール] 領域で、[ロケール] ドロップダウン リストから項目を選択します。 3. [保存] をクリックします。
電話スクリーンの言語（ロケール）を変更する	<ol style="list-style-type: none"> 1. [ユーザオプション] > [ユーザ設定] を選択します。 2. [ユーザロケール] ドロップダウン リストから項目を選択します。 3. [保存] をクリックします。

ヒント

PIN とパスワードでは、アクセスできる機能およびサービスが異なります。たとえば、電話機で Cisco エクステンション モビリティまたはパーソナル ディレクトリにログインするには、PIN を使用します。パーソナルコンピュータでユーザ オプション Web ページおよび Cisco WebDialer にログインするには、パスワードを使用します。詳細については、システム管理者にお問い合わせください。

Web での回線設定の制御

回線設定は、電話機の特定の電話回線（電話番号）に影響を及ぼします。回線設定には、コール転送、ボイス メッセージ インジケータ、呼出音のパターン、および回線ラベルが含まれます。

電話機でその他の回線設定を直接設定できます。

- プライマリ電話回線のコール転送を設定する：P.32 の「別の電話番号へのコールの転送」を参照
- 呼出音、表示、およびその他の電話機モデル固有の設定を変更する：P.59 の「電話機の設定の変更」を参照

目的	ログインした後の操作
回線ごとにコール転送を設定する	<ol style="list-style-type: none">1. [ユーザオプション] > [デバイス] を選択します。2. [名前] ドロップダウン メニューから電話機を選択します。3. [回線の設定] をクリックします。4. 複数の電話番号（回線）が電話機に割り当てられている場合は、[回線] ドロップダウン メニューから回線を選択します。5. [着信コールの転送] 領域で、さまざまな条件のコール転送設定を選択します。6. [保存] をクリックします。
回線ごとにボイス メッセージ インジケータ（ランプ）の設定を変更する	<ol style="list-style-type: none">1. [ユーザオプション] > [デバイス] を選択します。2. [名前] ドロップダウン メニューから電話機を選択します。3. [回線の設定] をクリックします。4. 複数の電話番号（回線）が電話機に割り当てられている場合は、[回線] ドロップダウン メニューから回線を選択します。5. [メッセージ受信ランプ] 領域で、さまざまな設定から選択します。 <p> (注) 通常、デフォルトのメッセージ受信設定では、電話機のハンドセットにあるライト ストリップの赤いランプが点灯して、新しいボイス メッセージがあることが示されます。</p> <ol style="list-style-type: none">6. [保存] をクリックします。

目的	ログインした後の操作
<p>回線ごとにボイス メッセージ インジケータ (音声) の設定を変更する</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. [ユーザオプション] > [デバイス] を選択します。 2. [名前] ドロップダウン メニューから電話機を選択します。 3. [回線の設定] をクリックします。 4. 複数の電話番号 (回線) が電話機に割り当てられている場合は、[回線] ドロップダウン メニューから回線を選択します。 5. [オーディオメッセージ受信インジケータ] 領域で、さまざまな設定から選択します。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p> (注) 通常、デフォルトのメッセージ受信設定では、電話機のハンドセットにあるライト ストリップの赤いランプが点灯して、新しいボイス メッセージがあることが示されます。</p> </div> <ol style="list-style-type: none"> 6. [保存] をクリックします。
<p>電話スクリーンに表示される回線テキスト ラベルを変更または作成する</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. [ユーザオプション] > [デバイス] を選択します。 2. [名前] ドロップダウン メニューから電話機を選択します。 3. [回線の設定] をクリックします。 4. 複数の電話番号 (回線) が電話機に割り当てられている場合は、[回線] ドロップダウン メニューから回線を選択します。 5. [回線のテキストラベル] 領域で、テキスト ラベルを入力します。 6. [保存] をクリックします。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p> (注) 2 バイト文字セットをサポートしていない電話機は ASCII ラベル フィールドを使用します。</p> </div>

モバイル コネクト用の電話機とアクセス リストの設定

Cisco Mobile Connect を使用する場合は、デスクの電話機と同じ電話番号を使用して発信や着信ができるように、携帯電話や他の電話機を追加する必要があります。これらの電話機を *リモート接続先* と呼びます。また、特定の番号からのコールが携帯電話に送信されるのを制限または許可するためのアクセス リストを定義することもできます。

目的	ログインした後の操作
アクセス リストを作成する	<ol style="list-style-type: none"> 1. [ユーザオプション] > [モビリティの設定] > [アクセスリスト] を選択します。 2. [新規追加] をクリックします。 3. 次の情報を入力します。 <ul style="list-style-type: none"> - [名前]: アクセス リストを識別します。 - [説明]: アクセス リストを説明します。 4. 次のオプションのいずれかを選択します。 <ul style="list-style-type: none"> - [拒否アクセスリスト]: ブロックする番号のリストを作成します。 - [許可アクセスリスト]: 許可する番号のリストを作成します。 5. [保存] をクリックします。
アクセス リストにメンバを追加する	<ol style="list-style-type: none"> 1. アクセス リストを作成します。 2. [メンバの追加] をクリックして、電話番号またはフィルタをリストに追加します。 3. [フィルタマスク] ドロップダウン リスト ボックスからオプションを選択します。電話番号、制限された発信者 ID (使用不可) が表示されたコール、または匿名発信者 ID (非通知) が表示されたコールをフィルタリングできます。 4. [フィルタマスク] ドロップダウン リスト ボックスから電話番号を選択した場合は、[DN マスク] フィールドに電話番号またはフィルタを入力します。フィルタの定義には、次のワイルドカードを使用できます。 <ul style="list-style-type: none"> - X (大文字または小文字): 数字 1 字に一致します。たとえば、408555123X は、4085551230 から 4085551239 のすべての番号と一致します。 - !: 任意の桁の数字に一致します。たとえば、408! は、408 で始まるすべての番号と一致します。 - #: 完全一致する数字 1 字として使用します。 5. このメンバをアクセス リストに追加するには、[保存] をクリックします。 6. アクセス リストを保存するには、[保存] をクリックします。

目的	ログインした後の操作
新しいリモート接続先を追加する	<ol style="list-style-type: none"> 1. [ユーザオプション] > [モビリティの設定] > [リモート接続先] を選択します。 2. [名前] ドロップダウン リスト ボックスからデバイスを選択します。 3. [リモート接続先] をクリックします。 4. [新規追加] をクリックします。 5. 次の情報を入力します。 <ul style="list-style-type: none"> - [名前]: 携帯電話（またはその他の電話機）の名前を入力します。 - [着信先番号]: 携帯電話番号を入力します。 - [最短応答タイマー]: リモート接続先でコールに応答できるまでの時間を入力します（ミリ秒）。 - [最長応答タイマー]: それ以上経過するとリモート接続先でコールに応答できなくなる時間を入力します（ミリ秒）。 - [呼び出し前の遅延タイマー]: リモート接続先でコールの呼出音が鳴るまでの時間を入力します（ミリ秒）。 - [リモート接続先プロファイル]: すべてのリモート接続先に適用する設定が含まれているリモート接続先プロファイルを選択します。 - [許可アクセスリスト]: デスクトップ電話機にコールが着信したときに、携帯電話で呼出音が鳴るようにする電話番号またはルールを選択します。許可アクセス リストまたは拒否アクセス リストを選択できますが、両方は選択できません。 - [拒否アクセスリスト]: デスクトップ電話機にコールが着信したときに、携帯電話で呼出音が鳴らないようにする電話番号またはルールを選択します。許可アクセス リストまたは拒否アクセス リストを選択できますが、両方は選択できません。 - [携帯電話]: デスクトップ電話機から発信されたコールを携帯電話で受ける場合に選択します。 - [モバイルコネクットの有効化]: デスクトップ電話機と同時に携帯電話で呼出音を鳴らす場合に選択します。 - [スマートクライアントインストール済み]: 設定しているリモート接続先がスマートフォンの場合に選択します。 6. [保存] をクリックします。

Cisco WebDialer の使用方法

Cisco WebDialer を使用すると、Web ブラウザで項目をクリックすることで、ディレクトリ内の連絡先へのコールを Cisco Unified IP Phone で発信できます。この機能は、システム管理者に設定してもらう必要があります。

目的	操作
ユーザ オプション ディレクトリで WebDialer を使用する	<ol style="list-style-type: none">1. ユーザ オプション Web ページにログインします。P.72 の「ユーザ オプション Web ページへのアクセス」を参照してください。2. [ユーザオプション] > [ディレクトリ] を選択し、同僚を検索します。3. ダイアルする番号をクリックします。4. WebDialer を初めて使用する場合は、初期設定を行い、[送信] をクリックします（詳細については、この表の最後の項目を参照）。5. コールの開始ページが表示された場合は、[ダイヤル] をクリックします（今後このページを表示しないようにする方法については、この表の最後の項目を参照）。 これで、電話機からコールが発信されます。6. コールを終了するには、[コールの終了] をクリックするか、電話機から切断します。
別のオンライン社内ディレクトリ(ユーザ オプション ディレクトリではない)で WebDialer を使用する	<ol style="list-style-type: none">1. WebDialer が有効な社内ディレクトリにログインし、同僚を検索します。2. ダイアルする番号をクリックします。3. プロンプトが表示されたら、ユーザ ID とパスワードを入力します。4. WebDialer を初めて使用する場合は、初期設定を行い、[送信] をクリックします（詳細については、この表の最後の項目を参照）。5. コールの開始ページが表示された場合は、[ダイヤル] をクリックします（今後このページを表示しないようにする方法については、この表の最後の項目を参照）。 これで、電話機からコールが発信されます。6. コールを終了するには、[コールの終了] をクリックするか、電話機から切断します。

目的	操作
WebDialer からログアウトする	コールの開始ページ、またはコールの終了ページのログアウト アイコンをクリックします。
WebDialer 初期設定を設定、表示、または変更する	<p>[初期設定] ページにアクセスします。</p> <p>[初期設定] ページは、WebDialer を初めて使用するとき (ダイヤルする番号をクリックした後) に表示されます。</p> <p>後で [初期設定] に戻るには、コールの開始ページ、またはコールの終了ページの初期設定アイコンをクリックします。</p> <p>[初期設定] ページには、次のオプションがあります。</p> <ul style="list-style-type: none"> • [優先する言語]: WebDialer の設定およびプロンプトで使用する言語を指定します。 • [常設の電話を使う]: WebDialer コールを発信するときに使用する Cisco Unified IP Phone および電話番号 (回線) を特定します。1 本の回線を持つ電話機を 1 台だけ使用している場合は、適切な電話機と回線が自動的に選択されます。それ以外の場合は、電話機または回線、あるいはその両方を選択します。電話機は、ホスト名を使用して指定します (電話機のホスト名を表示するには、 > [Settings] > [Network Configuration] > [Host Name] を選択します)。 • [エクステンションモビリティを使用する]: 選択した場合、WebDialer では、エクステンション モビリティ プロファイル (使用可能な場合) と関連付けられた Cisco Unified IP Phone が使用されます。 • [コールの確認ダイアログを表示しない]: 選択した場合、WebDialer がコールの開始ページを表示しないように要求されます。デフォルトでは、このページは、WebDialer が有効なオンライン ディレクトリの電話番号をクリックした後に表示されます。

その他の設定オプションについて

システム管理者は必要に応じて、特別なサービスや機能のほかに、特別なボタンやソフトキーのテンプレートを使用するように電話機を設定できます。次の表は、設定オプションの概要について説明しています。コールの需要や作業環境に応じたオプションの設定について、電話機のシステム管理者と相談するときに役立ちます。



(注) この表に記載されている電話ガイドとその他のマニュアルには、次の URL からアクセスできます。http://www.cisco.com/en/US/products/hw/phones/ps379/tsd_products_support_series_home.html

目的または状態	操作	参照先または問い合わせ先
電話回線が 1 本では足りない	追加の電話番号の設定をシステム管理者に依頼します。	システム管理者または電話機のサポート チームにお問い合わせください。
短縮ダイヤル ボタンが足りない	まず、現在利用可能な短縮ダイヤル ボタンをすべて使用しているかどうかを確認します。 追加の短縮ダイヤル ボタンが必要な場合は、固定短縮ダイヤル機能の使用、またはファースト ダイヤル サービスへの登録を試行してください。	P.41 の「短縮ダイヤル」を参照してください。
1 つの内線を複数の電話機で使用する	共有回線が必要です。共有回線を使用することで、たとえば 1 つの内線番号をデスクの電話機と実験室の電話機で使うことができます。	P.47 の「共有回線の使用」を参照してください。

目的または状態	操作	参照先または問い合わせ先
電話機やオフィス スペースを同僚と共有している	<p>次の機能の導入を検討します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • コールパーク：転送機能を使用せずにコールを保存、および取得できます。 • コールピックアップ：別の電話機で鳴っているコールに応答できます。 • 共有回線：同僚のコールを表示できます。 • Cisco エクステンション モビリティ：共有の Cisco Unified IP Phone に自分の電話番号およびユーザ プロファイルを適用できます。 	<p>これらの機能については、システム管理者にお問い合わせください。また、次の説明を参照してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 応用的なコール処理 (P.41) • 共有回線の使用 (P.47) • Cisco エクステンション モビリティの使用 (P.53)
頻繁にコールに応答する、または他の人の代理でコールを処理する	電話機への自動応答機能の設定をシステム管理者に依頼します。	P.58 の「自動応答の使用」 を参照してください。
ビデオ コールを発信する必要がある	Cisco Unified Video Advantage の使用を検討してください。これを使用することにより、Cisco Unified IP Phone、パーソナル コンピュータ、および外部ビデオ カメラを使用して、ビデオ コールを発信できるようになります。	詳細については、システム管理者にお問い合わせください。また、『 <i>Cisco Unified VT Advantage クイックスタートガイド</i> 』および『 <i>Cisco Unified VT Advantage ユーザガイド</i> 』を参照してください。
電話機の短縮ダイヤル ボタンに関連付けられている電話回線の状態を判断する	電話機の Busy Lamp Field (BLF; ビジーランプ フィールド) 機能を設定するように管理者に依頼します。	P.49 の「BLF による回線状態の確認」 を参照してください。
自分の電話番号と設定を共有の Cisco Unified IP Phone に一時的に適用する	Cisco エクステンション モビリティ サービスについてシステム管理者に問い合わせます。	P.53 の「Cisco エクステンション モビリティの使用」 を参照してください。

電話機のトラブルシューティング

この項では、Cisco Unified IP Phone のトラブルシューティング情報を提供します。

一般的なトラブルシューティング

この項では、電話機の一般的な問題をトラブルシューティングするために役立つ情報を提供します。詳細については、システム管理者にお問い合わせください。

症状	説明
ダイヤル トーンが聞こえない、またはコールを完了できない	次の状況の 1 つ以上に該当している可能性があります。 <ul style="list-style-type: none">• エクステンション モビリティ サービスにログインする必要がある。• 電話番号をダイヤルした後で、Client Matter Code (CMC; クライアント マター コード) または Forced Authorization Code (FAC) を入力する必要がある。• 電話機に時間帯制限が設定され、特定の時間帯に一部の機能を使用できない。
アプリケーション メニューの [Settings] を使用できない	システム管理者が、電話機で [Settings] を無効にしている可能性があります。
使用するソフトキーが表示されない	次の状況の 1 つ以上に該当している可能性があります。 <ul style="list-style-type: none">• [more] を押して、さらにソフトキーを表示させる必要がある。• 回線の状態を変更する必要がある (たとえば、オフフックにするか、接続コール中にします)。• 該当のソフトキーに関連付けられた機能をサポートするように電話機が設定されていない。
[CallBack] が失敗する	通話相手がコール転送を有効にしている可能性があります。

電話機の管理データの表示

トラブルシューティングの一環として、電話機の管理データにアクセスするようにシステム管理者から求められる場合があります。

目的	操作
ネットワーク設定データにアクセスする	 () > [Settings] > [Network Configuration] を選択して、表示するネットワーク設定項目を選択します。
ステータス データにアクセスする	 () > [Settings] > [Status] を選択して、表示するステータス項目を選択します。
電話機のモデル情報にアクセスする	 () > [Settings] > [Model Information] を選択します。
電話機のコールおよび音質の情報にアクセスする	 () > [Settings] > [Status] > [Call Statistics] を選択します。

シスコ製品（ハードウェア）に関する 1年間の限定保証規定

保証期間内にお客様が受けられるハードウェアの保証およびサービスに関して適用される特別な条件があります。シスコのソフトウェアに適用される保証およびライセンス契約を含む正式な保証書は、Cisco.com で入手できます。次の手順を実行して、Cisco.com から *Cisco Information Packet* と保証およびライセンス契約書にアクセスし、これらをダウンロードしてください。

1. ブラウザを起動し、次の URL に進みます。

http://www.cisco.com/univercd/cc/td/doc/es_inpkc/cetrans.htm

Warranties and License Agreements ページが表示されます。

2. *Cisco Information Packet* を表示するには、次の手順を実行します。

- a. **Information Packet Number** フィールドをクリックし、製品番号 78-5235-03B0 が選択されていることを確認します。
- b. 文書を表示する言語を選択します。
- c. **Go** をクリックします。

Information Packet の Cisco Limited Warranty and Software License ページが表示されます。

- d. このページから文書をオンラインで見るとも、**PDF** アイコンをクリックして、文書を PDF (Adobe Portable Document Format) 形式でダウンロードし、印刷することもできます。



(注) PDF ファイルを表示し、印刷するには、Adobe Acrobat Reader が必要です。これは、Adobe Web サイト <http://www.adobe.com> からダウンロードできます。

3. お手持ちの製品について、翻訳またはローカライズされた保証情報を表示するには、次の手順を実行します。

- a. Warranty Document Number フィールドに、次の製品番号を入力します。

78-10747-01C0

- b. 文書を表示する言語を選択します。
- c. **Go** をクリックします。

Cisco warranty ページが表示されます。

- d. このページから文書をオンラインで見るとも、**PDF** アイコンをクリックして、文書を PDF (Adobe Portable Document Format) 形式でダウンロードし、印刷することもできます。

また、Cisco Service and Support の Web サイトにアクセスして、サポートを受けることもできます。

http://www.cisco.com/public/Support_root.shtml

ハードウェア保証期間

1 年間

ハードウェアに関する交換、修理、払い戻しの手順

シスコ、またはその代理店では、Return Materials Authorization (RMA) 要求を受領してから、10 営業日以内に交換部品を出荷するように商業上合理的な努力を致します。お届け先により、実際の配達所要日数は異なります。

シスコは購入代金を払い戻すことにより一切の保証責任とさせて頂く権利を留保します。

Return Materials Authorization (RMA) 番号の入手

製品を購入されたシスコの代理店にお問い合わせください。製品を直接シスコから購入された場合は、シスコの営業担当者にお問い合わせください。

次の項目を記入して、参照用に保管してください。

製品の購入先	
購入先担当者の電話番号	
製品モデル番号	
製品シリアル番号	
メンテナンス契約番号	

Index

A

ASCII ラベル フィールドのサポート 76

B

BLF 49

C

CallBack 22

Cisco Unified Communications Manager Address Book Synchronizer 75

Cisco Unified IP Phone

 トラブルシューティング 88

 ~の Web ベースのサービス 71

Cisco Unified Video Advantage 87

Cisco WebDialer 84

Cisco エクステンション モビリティ 53

CMC 23, 88

D

Details ソフトキー、~でのマルチパーティ コールの表示 62, 63

E

EM 53

F

FAC 23, 88

Forced Authorization Code、「FAC」を参照

M

MCID 51

Meet-Me 会議 37

MLPP、使用 51

P

PAB

 Web ページからの使用 73

 電話機で使用 66

PIN、変更 79

T

TABSynch 75

W

Web ベースのサービス

 設定 71

 「ユーザ オプション Web ページ」も参照

WebDialer 84

あ

アイコン

- 回線の 13
- コールの状態の 13

アイドル状態 14

アドレス帳同期化ツール 75

暗号化されたコール 50

安全な会議 38

安全なコール 50

い

インターコム回線 14, 40

う

ウィスパー 14

え

エクステンション モビリティ 53

お

音声、品質 7

オンフック ダイアル 21

音量

電話機の呼出音の 59

ハンドセット、ヘッドセット、またはスピーカ
フォンの 57

か

会議コール

- Meet-Me 37
- ~からの参加者の削除 38
- ~の参加者の表示 38
- ~のセキュリティレベル 38

回線

- BLFの使用 49
- 共有 47
- 切り替え 28
- ~でサポートされているコールの数 13
- ~とコール転送 32, 80
- ~とコールの状態 13
- ~のアイコン 13
- ~の説明 13
- ~のテキストラベル 80
- ~のボイス メッセージ インジケータの設定 80
- ~の呼出音 59
- ~の呼出音のパターン 80

き

共有回線

- およびリモートで使用中のアイコン 47
- ~の説明 47

く

クライアント マター コード、「CMC」を参照
グループのコール ピックアップ 43

- け
- 言語（ロケール）の設定 79
- こ
- コール
 - 安全な 50
 - 応答 24
 - 回線ごとの最大数 13
 - 回線との比較 13
 - サイレントの使用 34
 - 終了 26
 - 転送 30, 32, 80
 - ～のアイコン 13
 - ～の会議機能 35
 - ～の複数の参加者 35
 - パーク 45
 - 発信 20, 22
 - 複数、～の切り替え 28
 - 複数の処理 28
 - ブロッキング 34
 - 保存と取得 45
 - ミュート 28
 - 優先順位付け 51
 - 呼び出し中のリダイレクト 43
 - 割り込み 47
- コールパーク 45
- コールピックアップ 43
- コール待機 24
- コール転送
 - Web ページからの設定 80
 - 電話機で設定 32
- コールの切り替え 28
- コールの終了、～のオプション 26
- コールの転送、～のオプション 32
- コールの発信、～のオプション 20, 22
- コールへの応答 24
- 個人アドレス帳、「PAB」を参照
- 固定短縮ダイヤル 41, 75
- さ
- サービス、～への登録 77
- サイレント 34
- し
- 自動応答 58
- 自動ダイヤル 21
- 社内ディレクトリ
 - Web ページからの使用 84
 - 電話機で使用 61, 64
- す
- ステータス データ、検索 88
- スピーカフォン
 - 使用 56
 - ～でのコールの発信 20
 - ～でのコールへの応答 24
 - ～での切断 26
- せ
- セキュリティ、コールの 50
- 接続済み 14
- 切断、～のオプション 26

そ

- ソフトキー ボタン
- ～の説明 11

た

- ダイヤル、～のオプション 20, 22
- 短縮ダイヤル
 - 使用 22
 - 設定 41, 75
 - ～での BLF の使用 41
 - ～の説明 41
 - ラベル 75

ち

- 着信履歴、～のレコード 61

て

- ディレクトリ
 - Web ページからの使用 84
 - 社内 64
 - 電話機で使用 64
 - パーソナル 64, 66
- デバイス設定ページ 72
- 転送、～のオプション 30
- 電話回線
 - ～の説明 13
- 電話機サービス
 - 設定
 - 「ユーザ オプション Web ページ」も参照

電話スクリーン

- 言語の変更 60
- コントラストの調整 60
- 照明の設定 60

と

- 登録、電話機サービスへの 77
- トラブルシューティング
 - 「QRT」も参照
 - 一般的な 88

に

- 認証されたコール 50

ね

- ネットワーク設定データ、検索 88

は

- パーソナルディレクトリ
 - Web ページからの使用 73
 - 電話機で使用 66
- パスワード、変更 79
- 発信履歴、～のレコード 61
- ハントグループ、ログアウト 46
- ハントグループからのログアウト 46
- ハンドセット
 - 使用 56

- ひ
 - ビジョ ランプ フィールド 49
- ふ
 - ファースト ダイヤル
 - Web ページからの設定 74
 - 電話機で使用 66
 - 複数のコール、処理 28
 - 不在履歴、~のレコード 61
 - 不審なコール、トレース 51
 - プライバシー
 - および共有回線 47
 - プレダイヤル 21
- へ
 - ヘッドセット
 - 使用 56
 - ~でのコールの発信 20
 - ~でのコールへの応答 24
 - ~での切断 26
 - ヘッドセットのパフォーマンス、一般的な 6
- ほ
 - ボイス メッセージ インジケータ
 - ~の設定の変更 80
 - ~の説明 69
 - ボイス メッセージ サービス 69
 - ボタン 40
 - 保留
 - およびコールの切り替え 28
- および転送 30
- ま
 - マルチパーティ コール
 - ~の詳細の表示 62, 63
 - 履歴での識別 62, 63
- み
 - ミュート、使用 28
- め
 - 迷惑呼 ID 51
 - メッセージ
 - 聞く 69
 - ~のインジケータ 59, 69
- ゆ
 - ユーザ オプション Web ページ
 - アクセス 71
 - ~での機能とサービスの設定 73
 - ~での電話機サービスへの登録 77
 - 優先順位付け、コールの 51
- よ
 - 呼出音
 - カスタマイズ 59
 - ~の音量 59
 - 呼出音、変更 59
 - 呼出音のパターン、変更 80

り

リダイヤル 20

リモートで使用中のアイコン、共有回線の 47

履歴

削除 61

~で表示してダイヤル 61

わ

割り込み

および共有回線 47

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

Cisco has more than 200 offices worldwide. Addresses, phone numbers, and fax numbers are listed on the Cisco Website at www.cisco.com/go/offices.

CCVP, the Cisco logo, and the Cisco Square Bridge logo are trademarks of Cisco Systems, Inc.; Changing the Way We Work, Live, Play, and Learn is a service mark of Cisco Systems, Inc.; and Access Registrar, Aironet, BPX, Catalyst, CCDA, CCDP, CCIE, CCIP, CCNA, CCNP, CCSP, Cisco, the Cisco Certified Internetwork Expert logo, Cisco IOS, Cisco Press, Cisco Systems, Cisco Systems Capital, the Cisco Systems logo, Cisco Unity, Enterprise/Solver, EtherChannel, EtherFast, EtherSwitch, Fast Step, Follow Me Browsing, FormShare, GigaDrive, HomeLink, Internet Quotient, IOS, iPhone, IP/TV, iQ Expertise, the iQ logo, iQ Net Readiness Scorecard, iQuick Study, LightStream, Linksys, MeetingPlace, MGX, Networking Academy, Network Registrar, PIX, ProConnect, ScriptShare, SMARTnet, StackWise, The Fastest Way to Increase Your Internet Quotient, and TransPath are registered trademarks of Cisco Systems, Inc. and/or its affiliates in the United States and certain other countries.

All other trademarks mentioned in this document or Website are the property of their respective owners. The use of the word partner does not imply a partnership relationship between Cisco and any other company. (0709R)

Copyright © 2007, Cisco Systems, Inc.
All rights reserved.



The Java logo is a trademark or registered trademark of Sun Microsystems, Inc. in the U.S. or other countries.

お問い合わせは、購入された各代理店へご連絡ください。



シスコシステムズ合同会社

〒107-6227 東京都港区赤坂 9-7-1 ミッドタウン・タワー

<http://www.cisco.com/jp>

お問い合わせ先（シスココンタクトセンター）

<http://www.cisco.com/jp/go/contactcenter>

0120-933-122（通話料無料）、03-6670-2992（携帯電話、PHS）

電話受付時間：平日 10:00 ~ 12:00、13:00 ~ 17:00